

コンテンツ	番号	共通キャリアスキル フレームワーク		提供企業 グループ	受講対象者	コース名	概要	学習目標	研修内容
		大分類	中分類						
	1			富士通	新入社員	新入社員のためのロジック 研修 ~アルゴリズム編~	基本アルゴリズムを講義と演習を通して学習します。標準的なアルゴリズムのパターンを理解し、フローチャート作成やトレースの演習をとおして、自分で考え、プログラム作成に活用できる力を修得します。	・プログラミングに必要な論理的思考能力を身につける。 ・基本的なアルゴリズム(集計・探索・整列など)を理解する。 ・誰にでも分かりやすいフローチャートを作成する。	1. アルゴリズムとは 1.1 アルゴリズムとは何 1.2 3つの基本構造 2. アルゴリズムの基本 2.1 領域・JISフローチャート 2.2 加算 2.3 交換 2.4 判断 2.5 繰り返し 2.6 配列 3. 集計 3.1 集計とは 3.2 集計の考え方 3.3 集計の例題 4. 探索(サーチ) 4.1 探索(サーチ) 4.2 探索法の種類 4.3 逐次探索法の考え方 4.4 逐次探索法の例題 4.5 2分探索法の考え方 4.6 2分探索法の例題
	2			富士通	新入社員	新入社員のためのロジック 研修(Java) ~ロジック構 築力徹底トレーニング~	個人のレベルを考慮し、課題に次々と挑戦するラーニング形式で学習することにより、社会人として自主的に行動できることを目指します。UMLに準拠したクラス図、シーケンス図をもとにプログラムを実装できるように、基本的なアルゴリズムと言語スキルを修得します。	・基本的なアルゴリズムを作成できる。 ・UMLに準拠したクラス図、シーケンス図をもとにプログラムを実装できる。 ・社会人として自主的に行動できる。	1. オリエンテーション 2. 開始時のスキルレベル測定 3. 社会人としての基本動作 3.1. 社会人としての心得 3.2. 自己管理 3.3. 品質・納期・コスト 3.4. 報告・連絡・相談 4. レビュー基礎 5. アルゴリズム講義・演習 6. Java言語・UMLに関する学習 7. プログラム開発の流れ 8. オブジェクト指向トレーニング 9. 終了時のスキルレベル測定 10. ロジック研修まとめ 11. ロジック研修振り返り
	3			TIS	新入社員	Javaプログラミング基本	Javaの開発環境を自ら設定後、Javaプログラミングを行う。 ※開発環境は、受講者が自ら設定する 統合開発ツールは使用せず、コマンドラインよりプログラミングを行う。	・Java言語の特徴を説明できる ・オブジェクト指向の基本的な概念(クラス、オブジェクト、継承)について説明できる ・クラスライブラリを利用して効率よくプログラムが作成できる	1. Javaの概要 2. Java言語の基礎 3. オブジェクト指向入門 4. クラスとオブジェクト 5. 継承 6. 例外処理 7. 基本的なクラス 8. ファイル入出力 9. コレクション
	4			TIS	新入社員	Web環境でのプログラミング (サーバサイドJava)	Webアプリケーション開発に必要な技術スキルを修得する	・HTMLタグを利用してデータ入力用フォームのあるGUIが作成できる ・サーブレット、JSPの概要と動作のしくみを説明できる ・SQL、JDBCによりデータベースを操作するプログラムを作成できる	1. HTMLの基本文法 2. データ入力のページ 3. JavaによるWebアプリケーション概要 4. サーブレット 5. JSP 6. MVCモデル 7. データベース管理システム(DBMS)の基本機能 8. データ操作文 9. JDBC概要 10. トランザクション 11. Bean連携(MVCモデル)
	5			TIS	新入社員	Javaプログラミング応用演 習	セキュリティに考慮したJavaプログラミング実装例を理解できる	・セキュリティ概論 ・ユーザ認証の実装	1. セキュリティ概論 2. ユーザ認証の実装 3. SQLインジェクションへの対応 4. クロスサイトスクリプティング 5. Javaプログラミング作成演習 6. 基本的なサーブレット作成演習 7. 基本的なJSP作成演習 8. 基本的なJDBC作成演習
	6			日立	新入社員	Javaプログラミング1 (基本文法編)	Java言語での開発に必要な基礎知識とスキルを学習します。具体的には、Java言語文法、オブジェクト指向プログラミングの基本知識、およびライブラリの利用方法をマシ実習を通して学習します。	・Java言語の基本文法やオブジェクト指向の概要について説明できる。 ・継承やライブラリを用いて、オブジェクト指向に基づいたプログラムを作成できる。 ・例外処理を用いたプログラムを作成できる。 ・実習を通して、プログラミングのスキルやテクニックを活用できる。	1. Java言語入門 2. Java言語の文法 3. オブジェクト指向プログラミング1 4. オブジェクト指向プログラミング2 5. 例外 6. java.langパッケージ
	7			日立	新入社員	Javaプログラミング2 (基本クラス編)	Java言語での開発における便利な機能やスキルを学習します。具体的には、コレクションフレームワーク、スレッド、ファイル入出力、ソケットの利用方法をマシ実習を通して学習します。	・コレクションフレームワーク、スレッド、ファイル入出力、ソケットの機能を 利用したプログラムを作成できる。 ・実習を通して、プログラミングのスキルやテクニックを活用できる。	1. java.utilパッケージ 2. スレッド 3. File I/O 4. ネットワーク・プログラミング
	8			日立	新入社員	Webコンテンツ制作- HTML+CSS編-	HTMLによるリンク、テーブル、フォームなどを用いたWebコンテンツの作成方法や、CSSを用いたスタイルシートの効果的な指定方法について、実例やマシ実習を交えて学習します。	・HTMLの基礎を説明できる。 ・スタイルシートの基礎を説明できる。 ・リンク、テーブル、フォームを用いたWebコンテンツをHTMLで作成できる。 ・CSSを使って、Webコンテンツ(画面レイアウト)を作成できる。	1. HTMLの概要 2. HTMLの基本文法(テーブル・フォーム・リンク等) 3. HTMLの主要な要素 4. CSSの概要 5. CSSの基本文法 6. CSSの主要なプロパティ
	9			日本ユニシス	新入社員	プログラムを作ってみよう	簡単なプログラムを作って動かすことを体験する。	・プログラムに慣れるためにはまずは簡単な内容を体験し、プログラマの基礎を習得する。	1.コンピュータシステムとは 2.プログラムの作成手順 2.1.Step1 ソースプログラムファイルを作成してみよう 2.2.Step2 コンパイルをしてみよう 2.3.Step3 実行してみよう 2.4.Step4 コメント、書法 2.5.Step5 定数と変数 2.6.Step6 キーボードからのデータ入力 3.練習問題 4.応用問題 5.おわりに(復習)
	10			日本ユニシス	新入社員	HTML基礎	WWWの基礎知識とHTMLの構文を実例と演習を通して修得する。	・WWWの基礎技術を説明できるようになる。 ・基本的なHTMLを記述できるようになる。	1.WWWの基礎知識 2.HTML構文 3.Webアプリケーション 3.1.Webアプリケーションの基本動作 3.2.対話処理の流れ 3.3.フォーム定義のためのタグ
	11			日本ユニシス	新入社員	XML基礎	インターネットの標準技術であるXMLの概要、特徴を学習し、XMLを作成するための基本的な記述方法を修得する。	・XMLの概要、特徴を理解し説明できるようになる。 ・基本的な記述方法を学んでXML文書を作成できるようになる。 ・また、構造の定義を学んでXML文書の設計ができるようになる。	1.XMLの概要 2.XML文書の作成 2.1.XML 文書の構造 2.2.要素と属性 2.3.XMLで使用できる文字 2.4.XML文書の種類 2.5.XMLプロセッサ(XMLパーサー)
	12			日本ユニシス	新入社員	プログラミング入門	プログラム作成に必要な思考力を磨く。(アルゴリズム、基本三構造)	・プログラム作成に必要な思考力を磨く。(アルゴリズム、基本三構造) ・プログラム作成に必要な基本概念・操作を身につける。(変数、式、代入、入出力、データ型、配列、ポインタ) ・プログラミング作法を身につける	1.アルゴリズムとは 2.入力と出力 3.単純列 4.選択構造 5.繰り返し構造 6.配列(1次元配列のみ) 7.ポインタ(ポインタとアドレスの関係のみ)

コンテンツ	番号	共通キャリアスキル フレームワーク		提供企業 グループ	受講対象者	コース名	概要	学習目標	研修内容
		大分類	中分類						
	13	アル ゴリ ズム と プ ロ グ ラ ミ ン グ	基礎理論	日本ユニシス	新入社員	構造化プログラミング (C言語)	プログラムロジックを組み立てる基本的な手法を身につけ、プログラム作成のために必要な思考力を磨く。	<ul style="list-style-type: none"> 基本三構造に基づいた正確なアルゴリズムを考え、ツールを使って表現できるようになる。 わかりやすく簡潔なアルゴリズムに、洗練することができるようになる。 問題解決のための基本的なアルゴリズム作成ができるようになる。 	<ol style="list-style-type: none"> 基本アルゴリズム <ol style="list-style-type: none"> 1.1 逐次探索法 1.2 番人法 1.3 2分探索法 1.4 マッチング、マージ 1.5 関数(関数、引数、スコープ) 1.6 ソート テキストファイルを利用したプログラム、良いプログラムとは 等
	14			日本ユニシス	新入社員	基礎から学ぶJavaプログラミング	本格的なJavaプログラミングを行う前準備として、変数、演算子、制御文などプログラミングの基礎スキルを実習を通して習得する。豊富な演習課題を繰り返すことで、アルゴリズムをJava言語で実装する力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> Javaの基本文法(変数、演算子、制御文)を理解する。 Javaプログラムの環境設定とコンパイルおよび実行ができるようになる。 簡単な課題に対しアルゴリズムを考え、Javaで実装できるようになる。 	<ol style="list-style-type: none"> Javaプログラミングのための環境設定 Javaの特徴 プログラムの作成手順 変数とデータ型、演算子、制御文
	15			日本ユニシス	新入社員	オブジェクト指向Javaプログラミング	オブジェクト指向の基本概念を理解し、オブジェクト指向プログラミングの基礎(インスタンスの生成と利用、パッケージとアクセス制御、継承、例外処理など)をJavaで実現する方法を、実習を通して修得する。	<ul style="list-style-type: none"> オブジェクト指向の基本概念(クラス、オブジェクト、継承など)を説明できるようになる。 オブジェクト指向プログラミングの基礎(インスタンスの生成と利用、パッケージとアクセス制御、継承、例外処理など)をJava言語で実装できるようになる。 インタフェースやポリモフィズムの概念を理解し、Javaでプログラミングできるようになる。 コレクションAPIを利用したプログラムを作成できるようになる。 	<ol style="list-style-type: none"> オブジェクト指向の基礎知識 オブジェクト指向プログラミング(基本) オブジェクト指向プログラミング(継承) インタフェース、参照型のキャスト、ポリモフィズム パッケージとアクセス制御 クラスライブラリを利用 例外処理 コレクション
	16			日本ユニシス	新入社員	Javaプログラミング ~DBアクセス編~	Java言語を用いて、データベースの検索・更新を行うプログラムを作成する基本的な方法を、実習を通して習得する。	<ul style="list-style-type: none"> JDBCの概要について説明できるようになる。 Java言語を用いて、データベースのデータの検索および更新を行う初歩的なプログラムが作成できるようになる。 	<ol style="list-style-type: none"> JDBC概要 データベースへの接続 SQL文の実行 データの検索処理 データの更新処理 データの追加/更新/削除 トランザクション処理
	17			日本ユニシス	新入社員	サーブレット・JSPによるWebアプリケーション開発	Webサーバ上で動的なコンテンツを提供するためのJavaテクノロジーであるサーブレットを習得する	<ul style="list-style-type: none"> Webアプリケーションサーバ(Tomcat)のセットアップができるようになる。 サーブレットとJSPに関する基本文法を習得し、サーブレットとJSPを用いた基本的なWebアプリケーションのプログラムが書けるようになる。 サーブレットAPIやJSPの文法については、自分で調べ、その内容をもとにプログラムの記述ができるようになる。 テキストなどを参照し、自力でプログラムを作成し、テストデータを用意してテストを実施して、プログラムを稼働させることができるようになる。 MVCモデルを使用したWebアプリケーションの基本概念を理解し、その構築について概要を説明することができるようになる。 	<ol style="list-style-type: none"> Webアプリケーション概要 Tomcat サーブレットの基礎 サーブレットの作成 セッション・トラッキング JSP (Java Server Pages) MVCアーキテクチャ Webアプリケーションのセキュリティ概要
	18			NTTデータ	新入社員	Javaプログラミング基礎	オブジェクト指向の基本的な概念、Java言語の基礎を理解し、基礎的なプログラム作成を行う。	<ul style="list-style-type: none"> オブジェクト指向の基本的な概念(クラス、継承)を理解する。 Java言語の言語仕様を理解し、基礎的なプログラム作成のスキルを身につける。 	<ol style="list-style-type: none"> Javaプログラミング入門 <ol style="list-style-type: none"> 1.1 アルゴリズム、プログラム、プログラム開発手順、環境設定 1.2 データ型 1.3 制御構造 1.4 配列 1.5 メソッド 1.6 オブジェクト 1.7 クラスの定義、インスタンス生成、コンストラクタ、オーバーロード 1.8 クラス図、シーケンス図 クラスの継承 抽象クラスとインタフェース コレクション 例外 パッケージ
	19			NTTデータ	新入社員	Javaプログラミング応用	Javaプログラミングの応用知識、スキルを修得する。	<ul style="list-style-type: none"> Javaプログラミング (JSP/Servlet/JDBC) の応用知識、スキルを修得する。 	<ol style="list-style-type: none"> Webアプリケーション概要 <ol style="list-style-type: none"> 1.1 Webアプリケーション 1.2 Javaからのデータベース処理 1.3 Javaからの動的コンテンツの出力処理 JDBC ServletとJSP JavaによるWebアプリケーション
	20	NTTデータ	新入社員	Webアプリケーション構築	設計書に基づいたプログラム作成能力を身につけ、実践的なWebプログラム作成を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 主要なUMLドキュメントを理解し、設計書に基づいたプログラム作成能力を身につける。 コーディング規約を考慮したプログラム作成能力を身につける。 実践的なWebプログラム作成能力を身につける。 	<ol style="list-style-type: none"> 実装のプラクティス <ol style="list-style-type: none"> 1.1 受発注システムを題材としたログイン/ログアウト処理、アクション処理(登録、検索等)の実装 		
	21	NEC	新入社員	Javaプログラミング入門	Javaプログラム開発に必須のスキル(開発手順、変数、配列、メソッド、制御用構文、オブジェクト指向プログラミングなど)を、プログラミング実習を通して修得します。	<ul style="list-style-type: none"> Javaで記述されたソースプログラムをコンパイルできる。 変数を利用したJavaプログラミングを開発できる。 配列を利用したJavaプログラムを開発できる。 分岐処理、繰り返し処理を含むJavaプログラムを開発できる。 Javaのメソッドを定義し、利用できる。 Javaのクラスを定義できる。 クラスをインスタンス化し、利用できる。 	<ol style="list-style-type: none"> Javaの概要 <ol style="list-style-type: none"> 1.1 Javaの特徴 1.2 プログラム実行の仕組み 1.3 Javaプログラムの開発手順 Javaプログラムの基本形 <ol style="list-style-type: none"> 2.1 Javaプログラムの基本構造 2.2 メッセージの出力 2.3 変数の定義と利用 2.4 基本データ型 2.5 キャスト演算 2.6 配列の定義と利用 制御用構文 <ol style="list-style-type: none"> 3.1 分岐処理 (if, switch-case) 3.2 繰り返し処理 (for, while) メソッド <ol style="list-style-type: none"> 4.1 メソッド分割の利点 4.2 引数と戻り値 4.3 メソッドの定義 4.4 メソッド呼び出し オブジェクト指向プログラミング <ol style="list-style-type: none"> 5.1 オブジェクト指向の概要 5.2 クラスの定義 5.3 インスタンス化 5.4 オブジェクトの利用 5.5 コンストラクタ 5.6 変数の初期値 		

コンテンツ	番号	共通キャリアスキル フレームワーク		提供企業 グループ	受講対象者	コース名	概要	学習目標	研修内容
		大分類	中分類						
	22			NEC	新入社員	Javaプログラミング基礎1	Javaによるオブジェクト指向プログラミングのスキルを、プログラミング実習を通して修得します。	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセス指定子を使って適切に情報隠蔽したクラスを定義できる。 ・コンストラクタの役割や利点、定義ルールを理解し、オブジェクトの初期化に利用できる。 ・サブクラスの利用がシステムの拡張性や再利用性を向上させることを理解し、その具体的なプログラミングができる。 ・インタフェースの役割や利点を理解し、インタフェースを使ったプログラムを作成できる。 ・ファイルにデータを入出力するプログラムを作成できる。 ・エラーを例外処理として対処するプログラムを作成できる。 ・オブジェクトの排他制御の必要性を理解し、そのプログラムを作成できる。 ・JDKドキュメントを用いて、クラスの仕様を調べることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. オブジェクト指向プログラミング <ul style="list-style-type: none"> ・オブジェクト指向の特徴 ・クラスの定義 ・インスタンス化 ・オブジェクトの利用 ・オーバーロード ・コンストラクタ ・staticメンバ ・クラスの再利用 2. クラスの再利用 <ul style="list-style-type: none"> ・継承 ・オーバーライド ・インタフェース ・各種修飾子 3. パッケージの利用 <ul style="list-style-type: none"> ・パッケージ化 ・CLASSPATH ・文字列操作(Stringクラス、StringBufferクラス) ・ラッパークラス(Integerクラス) ・Collectionフレームワーク 4. ファイル入出力 <ul style="list-style-type: none"> ・バイトストリーム ・キャラクタストリーム ・例外処理 5. スレッド制御 <ul style="list-style-type: none"> ・マルチスレッドプログラミング ・排他制御 ・同期制御
	23			NEC		Javaプログラミング基礎2	Javaの標準ライブラリによって提供される機能(コレクション、ファイル入出力、マルチスレッド)の利用方法を、プログラミング実習を通して修得します。	<ul style="list-style-type: none"> ・APIドキュメントで、クラス・メソッドの仕様を調べることができる。 ・Stringクラスやラッパークラスなどを利用したプログラムを作成できる。 ・コレクションを利用したプログラムを作成できる。 ・ファイルにデータを入出力するプログラムを作成できる。 ・オブジェクトの排他制御の必要性を理解し、そのプログラムを作成できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Javaのライブラリ <ul style="list-style-type: none"> ・パッケージとは ・標準ライブラリ ・java.langパッケージ 2. コレクションフレームワーク <ul style="list-style-type: none"> ・コレクションフレームワークとは ・Collectionインタフェース ・リスト ・セット ・マップ 3. ストリーム <ul style="list-style-type: none"> ・ストリームとは ・キャラクタストリーム ・バイトストリーム ・フィルタストリーム ・標準入出力ストリーム ・オブジェクトシリアライゼーション 4. スレッド <ul style="list-style-type: none"> ・スレッドとは ・スレッドの定義と実行 ・スレッドの操作 ・同時実行制御
	24			IBM	新入社員	新入社員のためのアプリケーション開発基礎スキル-アルゴリズムからJava開発演習まで	オブジェクト指向でなぜ作るのか? グループで助け合い、Javaを使ってWebアプリケーションを完成させます	<ol style="list-style-type: none"> 1. ITに関わる仕事の種類を知り、配属後に自分がどのような役割を担うのか明確にする。また、現場でどのような職種の人が働いているのかを理解する。 2. システムの基本的な構成要素、お客様のニーズを満たす主なITソリューション技術について説明できる。 3. 「IT技術者の仕事と役割」「情報システムの基礎」「ネットワークの基礎」「セキュリティの基礎」「データベースの基礎」「ITソリューションと最新動向」で学習した内容を活用して1つのシステム構成案を完成させ、知識を整理・統合する。 4. 各種グループワークを通じて、創造的かつ積極的にチームに貢献することができる。 	以下のコース名の研修内容をご参照ください。 第1～2日: プログラム作成の基礎 第3～8日: Java基本プログラミング-基礎編 第9～10日: SQL言語演習 第11～16日: 基礎から始めるWebアプリケーション開発演習
	25			IBM	新入社員	プログラム作成の基礎	フローチャートでプログラムの流れをイメージするグループワークにより、自分だけでなく他者にも分かりやすいアルゴリズムを目指します	<ol style="list-style-type: none"> 1. プログラムを作成するために必要となる基礎的な事柄を理解する。 2. 基本的な処理手順を理解し、フローチャートを用いて処理手順の作成ができる。 3. グループ制御、マッチング処理やテーブル処理などの基本的な処理手順を理解し、プログラム開発に適用することができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. プログラム作成の工程 2. フローチャートによる処理手順の表し方 3. データ処理のためのフローチャート 4. 処理手順の基本構造 5. 基本的なプログラムの処理手順 <ul style="list-style-type: none"> ○ファイル処理と印刷の基本手順 ○複数ファイルの処理 ○テーブル処理 6. まとめ
	26			IBM	新入社員	Java基本プログラミング-基礎編	オブジェクト指向が分かる! IT技術者として知っておきたいJavaの基礎	<ol style="list-style-type: none"> 1. Javaの基本文法に従ってコーディングできる。 2. オブジェクトを作成し、使用できる。 3. ライブラリ・クラスを利用できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Javaの基本文法 2. 実行の流れの制御 3. オブジェクトの取り扱い 4. インターフェースとパッケージ 5. 例外処理 6. ライブラリ・クラスの利用
	27			IBM	新入社員	Java基本プログラミング-応用編	コレクション・クラスやJava 5からの新機能であるジェネリックスなど、基礎編ではやらなかった機能について学習します。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファイル入出力機能を使用する。 2. ネットワーク入出力機能を使用する。 3. マルチスレッドを応用したプログラムを作成する。 4. コレクション・クラスを使用する。 5. ジェネリックス、自動型変換、列挙型の機能を使用する。 6. 内部クラスの記述方法を理解する。 7. Eclipseを利用して、Javaのプログラミングができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファイル入出力 2. ネットワーク入出力 3. マルチスレッド 4. コレクション・クラス 5. Java5からの新機能 6. 内部クラス
	28			IBM	新入社員	実践Webアプリケーション開発演習 BtoCWebサイト編	MVCモデルを使用し、Webアプリケーションを開発したい方に最適なコースです。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開発環境について理解をする。 2. HTMLを使用し、ページデザインをする。 3. JDBCを利用して、データベース・アクセスを伴うアプリケーションを作成する。 4. MVCモデルを使用し、Webアプリケーションを開発する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ツール説明と演習 2. Webサイト仕様作成(以降チーム毎) 3. 外部設計書・I/O記述書作成 4. テスト仕様書ひな型作成 5. プログラミング演習-HTML 6. プログラミング演習-Servlet/JSP/JavaBean 7. 結合テスト 8. 動作確認(テスト仕様書) 9. 発表資料作成 10. 発表準備 11. 成果物発表
	29			富士通	新入社員	新入社員のためのIT研修～実務で使えるコンピュータ基礎技術～	日頃の生活や業務で利用する各種ITシステムを題材として、適用されている技術と役割、さらに開発、運用体制を体感し、自立したSEになるための基礎知識を学習します。	<ul style="list-style-type: none"> ・SEとして関わる企業内の開発体制(プロジェクト、要員)や、企業内で稼働している各種業務システムを説明する。 ・ハードウェアの構成要素(CPU、メモリ、外部記憶装置など)と役割について説明する。 ・OSの役割や内部の仕組み(入出力制御、ファイル管理、プロセス管理、メモリ管理など)について説明する。 ・ネットワーク技術の概要を理解し、正しい情報の流れを実現するための機器や仕様などを説明する。 ・データベース技術の概要とDBMSの役割を理解し、効率的なデータ格納・検索のために必要な事項を説明する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報システムに携わる仕事 <ol style="list-style-type: none"> 1.1 身近にある情報技術(IT) 1.2 情報システムの利用者・提供者 1.3 情報システムに求められること 1.4 SEとはどんな仕事なのか 1.5 SEの作業負担 1.6 このテキストでは何を学ぶのか(テキスト全体地図) 2. ハードウェア・ソフトウェア <ol style="list-style-type: none"> 2.1 本章の位置づけ 2.2 ハードウェアとソフトウェア 2.3 コンピュータとは何だろう 2.4 コンピュータに必要な機能 ～コンピュータの5大装置～ 2.5 ソフトウェアとは何だろう 3. オペレーティングシステム <ol style="list-style-type: none"> 3.1 本章の位置づけ 3.2 オペレーティングシステム(OS) 3.3 OSの仕事 ～プロセス管理・入出力管理・メモリ管理～ 3.4 プロセス管理 3.5 メモリ管理 3.6 入出力管理 3.7 ユーザーの操作を助ける機能

コンテンツ	番号	共通キャリアスキルフレームワーク		提供企業グループ	受講対象者	コース名	概要	学習目標	研修内容
		大分類	中分類						
	30	コンピュータ構成要素		NTTデータ	新入社員	基盤技術基礎	情報システムを構成する基盤技術の原理原則を学ぶ。	・プラットフォーム、ネットワーク、データベースなどの基盤技術の原理原則を学ぶ。	1.原理原則の理解の重要性 2.OSの原理原則 3.ハードウェアの原理原則 4.ネットワークの原理原則 5.データベースの原理原則 6.システム構成の原理原則
	31			日本ユニシス	新入社員	コンピュータ基礎技術 Windows Platform編	システムエンジニアの基本として、オペレーティングシステムの働き、ネットワークの知識、各種PC設定等を演習によって実践的に学習する。	・OSの基本知識を学び、その上でWindowsの基本操作、コントロールパネルによる各種設定ができるようになる ・ユーザー管理のための設定やファイル/フォルダに対するアクセス権の設定ができるようになる ・ネットワーク/インターネットの基本知識を学び、その上でTCP/IPの設定ができるようになる	1.PCハードウェア基礎 2.オペレーティングシステム概要 3.Windows基本操作 4.コントロールパネル 5.プリンタ 6.ユーザーとグループ 7.ファイル管理 8.ネットワーク 9.TCP/IP設定 10.インターネット ・(付録)サブネットティング
	32			日本ユニシス	新入社員	コンピュータアーキテクチャー(Step1)	新人研修で得たコンピュータ知識とプログラミングスキルをベースに、今後システム構築をするために必要なOSの原理・原則を学習する。また、知識の整理と今後のアーキテクチャー習得の基盤をグループ演習などを通して習得する。	コンピュータ上でプログラムが動くしくみを説明できる ・コンピュータの5大機能について、H/W構成とその機能を説明できる ・OS(S/W)が何のために必要でどのような機能があるかを説明できる ・C言語プログラムを使用し、プログラムがどのように動くか説明できる (C言語→アセンブラ→機械語→OSによるプログラムロード→CPUを割当てられるまで)	1.コンピュータのハードウェア構成とその機能 2.OSの役割と機能 3.プログラムとは 4.論理アドレス 5.プロセス制御 6.メモリ管理 7.ファイルシステム 8.排他制御 9.シグナル処理 10.マルチプロセッサシステム
	33			日本ユニシス	2-3年目生	IT基盤基礎	システム基盤、NW、セキュリティ、について最低理解すべき知識を習得する	・設計を担当する前段階として、エンジニアが最低限理解すべき知識の体系を理解できるようになる ・システム要件に対する全体感を意識できるようになる ・システム構成図を読み、ポイントを押さえた質問実施ができるようになる ・基盤の提案書を読むことができるようになる	1.システム基盤の構成 2.システム基盤開発の概要 3.システム基盤の構成演習
	34			IBM	新入社員	新入社員のためのIT基礎スキル	“分かる”から“提案する”へITの全体像を把握するとともに自ら学ぶ意欲を高めます	1. ITに関わる仕事の種類を知り、配属後に自分がどのような役割を担うのか明確にする。また、現場でどのような職種の人が働いているのかを理解する。 2. システムの基本的な構成要素、お客様のニーズを満たす主なITソリューション技術について説明できる。 3. 「IT技術者の仕事と役割」「情報システムの基礎」「ネットワークの基礎」「セキュリティの基礎」「データベースの基礎」「ITソリューションと最新動向」で学習した内容を活用して1つのシステム構成案を完成させ、知識を整理・統合する。 4. 各種グループワークを通じて、創造的かつ積極的にチームに貢献することができる。	以下のコース名の研修内容を参照ください。 第1日:IT技術者の仕事と役割 第2~4日:情報システムの基礎 第5~7日:ネットワークの基礎 第8~9日:セキュリティの基礎 第10日:データベース入門 第11~12日:ITソリューションと最新動向 第13日:システム構成演習(総合ワークショップ)
	35			IBM	新入社員	情報システムの基礎	コンピュータはどのようにして動くのかコンピュータの仕組みをきっちり学びます	1. コンピューター用語を理解し、会話や会議に参加できる素地を醸成する。 2. さまざまなコンピュータの種類を知り、その特長を理解する。 3. 文字データや数値データの表現方法を理解し、データの読み取りや解析できる。 4. コンピューター本体、補助記憶装置の特長を理解する。 5. ファイルとデータベースの種類と特長を理解し、目的に応じた選択ができる。 6. ソフトウェアの種類とプログラム開発の手順を説明できる。	1. コンピューター・システムの概要 2. コンピューターの種類 3. 2進数と16進数 4. 文字と数値の表現 5. コンピューターの構成 6. 補助記憶装置 7. ファイルとデータベース 8. ソフトウェアの種類と機能 9. プログラム開発の流れ 10. プログラム作成の手順 11. プログラム言語の種類 12. システム形態
	36			富士通	新入社員	システム基盤技術研修Ⅰ(システムインフラ基盤入門)	顧客業務基盤を支えるインフラ/インターネットシステムと多層階モデルにおける「ITインフラの全体構造」と、それを構成する製品間の「アクセスフロー(仕組み)」を、実機演習を通して修得します。	次のITシステム全体のコアインフラ技術を理解できる ・IPネットワーク構築(LAN/WAN,L2SW,L3SW,Router,TCP/IP) ・企業内イントラネットシステム構築(Win2000系AD/WWW/MAIL) ・インターネットシステム構築(ドメイン構造,DNS,WWW,MAIL) ・セキュリティ対策&構築(攻撃防御,アクセス制御,NAT,VPN,DMZ) ・Webアプリケーションシステム構築(WWW,AP,DB,LB)とシステム運用管理	1.IPネットワークの仕組み 2.企業内イントラネットシステムの仕組み 3.インターネットシステムの仕組み 4.セキュリティ対策 5.Webアプリケーションシステムの仕組み 6.システム運用管理の仕組み
	37			富士通	若手社員	システム基盤技術研修Ⅱ(システムインフラ基盤構築実践)・PBL	顧客業務基盤を支えるインフラ/インターネットシステムと多層階モデルにおける「ITインフラの全体構造」と、それを構成する製品間の「アクセスフロー(仕組み)」を、実機構築を通して修得します。	要件定義&設計仕様に基づき次の仕組みの理解と実機構築ができる ・IPネットワーク構築(LAN/WAN,L2SW,L3SW,Router,TCP/IP) ・企業内イントラネットシステム構築(Win2000系AD/WWW/MAIL) ・インターネットシステム構築(ドメイン構造,DNS,WWW,MAIL) ・セキュリティ対策&構築(攻撃防御,アクセス制御,NAT,VPN,DMZ) ・Webアプリケーションシステム構築(WWW,AP,DB,LB)とシステム運用管理	1.IPネットワークの仕組みと構築 2.企業内イントラネットシステムの仕組みと構築 3.インターネットシステムの仕組みと構築 4.セキュリティ対策と構築 5.Webアプリケーションシステムの仕組みと構築 6.システム運用管理の仕組みと構築
	38	富士通	若手&中堅社員	システム基盤技術研修Ⅲ(システムインフラ・プロジェクト課題解決実践)・PBL	顧客情報戦略要件にもとづく設計・構築・障害未然防止/早期復旧・改善提案までの「ライフサイクル全体」、およびネット/サーバ/OS/ミドルを含む「ITシステム基盤全体」に対する総合技術力を備え、且つチームプロジェクトとしての「課題実現・問題解決力」を持つインフラ技術者を創出します。	・ITシステムの構成コンポーネントとそれらを連携したシステム基盤全体を理解できる。 ・顧客システムのリスク分析と回避策を立案し且つインフラの実現策を具体化できる。 ・V字品質(要件定義/設計/構築/テスト/運用)に基づき、実機システムを提供できる。 ・提供システムの運用保守とトラブルの未然防止・早期復旧ができる。	1. V字品質保証による設計/構築/運用保守計画 2.顧客システム現状把握とリスク抽出 3.改善策要件定義と方式・構成設計 4.環境設計/テスト計画の立案 5.環境構築/テストの実施とレビュー 6.トラブル対応と再発防止 7.新規業務追加に伴う設計/構築/テスト/提供 8.システム運用条件・リスク合意と次期提案		
	39	日立	新入社員	UNIX/Linux OS基礎Ⅰ-コマンド編-	UNIXおよびLinux OSの基本的なコマンドの機能、使用方法を、マシン実習を通して学習します。	・UNIX・Linux OSの概要を説明できる。 ・UNIX基本コマンドの機能と使用方法を理解できる。 ・シェルの基本操作ができる。 ・ネットワーク基本コマンドを操作できる。	1. UNIX/Linux OSの概要 2. ファイルシステム 3. 基本的なコマンドの操作 4. viエディタの使い方 5. シェルの操作(リダイレクション/パイプラインなど) 6. ネットワーク関連のコマンドの操作(telnet, ftpなど) 7. 総合実習		
	40	NEC	新入社員	システムインフラ基礎	システムを構成する各要素(OS、ミドルウェアなど)の役割と、性能や信頼性の考え方に関する基礎的なスキルを修得します。	・性能要件を考慮したシステム提案、システム開発ができる。 ・信頼性要件を考慮したシステム提案、システム開発ができる。	1. システム基盤とは 1.1.システム基盤とは 1.2.業務システムの形態 1.3.メインフレームとオープンシステム 1.4.システム基盤の構成要素 2. システム性能設計の基礎 2.1.性能の基本概念 2.2.性能予測、性能見積りの実施手順 3. システム信頼性設計の基礎 3.1.システムの信頼性とは 3.2.信頼性指標 3.3.稼働率計算 3.4.信頼性向上技術		

コンテンツ	番号	共通キャリアスキル フレームワーク		提供企業 グループ	受講対象者	コース名	概要	学習目標	研修内容
		大分類	中分類						
	41		ト フ ォ ー ム	IBM	新入社員～	Linuxの基礎	Linux/Unixが初めての方でも、コマンドと画面キャプチャー満載の演習ガイドで無理なく実習できます。	1.Linuxの基本的なコマンド操作ができる。 2.Linuxのオンラインドキュメントを使用できる。 3.簡単なシェル・スクリプトを作成できる。	1. Linux入門 2. システムの基本操作 3. Linuxのマニュアル 4. ファイルとディレクトリーの操作 5. ファイルとディレクトリーのパーミッション 6. マウントとリンク 7. ファイルの編集 8. シェルの基本機能 9. シェル・スクリプトの基本 10. Linuxユーティリティ 11. プロセスの概要 12. X Window System の概要 13. Linuxのインストール
	42			IBM	新入社員～	Linuxの管理	Linux/Unixが初めての方でも、コマンドと画面キャプチャー満載の演習ガイドで無理なく実習できます。	1.Linuxの起動の仕組みを説明し、カスタマイズできる。 2.Linuxの運用・管理の仕組みを説明し、カスタマイズできる。 3.レスキュー・ブートで起動できる。	1. システム管理ツール 2. 起動とシャットダウン 3. ファイル・システムとデバイス 4. パッケージ管理 5. ユーザーとグループ 6. ユーザー・レベル・セキュリティ 7. メモリ管理入門 8. スケジューリング 9. ロギング 10. バックアップと復元 11. レスキューモード
	43			TIS	若手社員	データベース技術 (標準コース)(2年次社員)	データベーススペシャリストに必要なスキルを理解し、データベースの設計、構築技法を習得する。また、運用、管理の概要についても学習する。	・データベース構築における設計の進め方を説明することができる ・ビジネス要件に基づいてERダイアグラムを作成することができる ・データベースに関する運用計画の立案ができる	1. データベース設計概要 2. データベース論理設計(基礎) 3. 【机上演習】ERダイアグラム作成 4. データベース論理設計(実践) 5. 【机上演習】データ構造の正規化 6. 【机上演習】ERダイアグラム作成 7. データベース・アーキテクチャ概要 8. データベース物理設計 9. 【机上演習】物理設計演習 10. データベース運用設計
	44			日立	新入社員	データベース入門-解説と操作体験	データベースの基礎知識やDBMSの基本機能、SQLによるデータ操作方法を、マシン実習します。	・データベースとデータモデルを理解し、説明できる。 ・DBMSの基本機能を理解し、説明できる。 ・基本的なSQLを発行し、リレーショナルデータベースを操作できる。	1. データベースとデータモデル 2. DBMSの基本機能 2.1. データ独立性 2.2. データの機密保護 2.3. トランザクション 2.4. 同時実行制御 2.5. 整合性制約 2.6. 障害回復 2.7. インデックス 3. SQL概要 3.1. リレーショナルデータベースの基本操作 3.2. SQLの種類 3.3. SQL構文
	45			日本ユニシス	新入社員	データベース基礎	データベースを操作するためのSQL文を理解する。	・DBMSの基本的な機能を知り、ファイルとの違いが言えるようになる ・DBの役割、機能の基礎知識を、標準SQLを実際のDBMSにて操作を通じて修得する	1. データベースとは 2. リレーショナル・データベース概要 3. 基本的な検索操作 4. 複雑な検索操作 5. データの変更操作 6. データの定義
	46			日本ユニシス	新入社員	データベース設計基礎	アプリケーション開発者が目にするERモデル図について、読めるようになる。データベース設計の基本を理解できる。	・データベース設計(データモデリング)の作成手順が説明できるようになる ・ERモデル図を見て大まかな概要を説明できる(読むことができる)ようになる ・第3正規化までの正規化方法と、正規化の利点を説明することができるようになる	1.データベース設計概要 2.概念設計 2.1.概念設計の手順 2.2.E-Rモデル 3.論理設計 3.1.論理設計の手順 3.2.正規化 3.3.エンティティ定義書の作成 4.物理設計 4.1.物理設計の手順 4.2.表の見直し 4.3.表の作成
	47		デ ー タ ベ ー ス	NEC	新入社員	データベース入門	データベースに関する基本的な概念と技術をマシン実習を通して修得します。	・データベースのメリットを理解することによりシステム提案や構築ができる。 ・DBMSの機能を理解することにより、円滑にデータベース管理ができる。 ・データベースの設計方法を理解することにより、効果的にシステム設計ができる。 ・DBMSの選定や導入方法を理解することにより、円滑にデータベースの導入ができる。 ・データベースの技術動向を理解することにより、効果的にシステム提案や構築ができる。	1. ファイルとデータベース 1.1. データの管理方法 1.2. ファイルの問題点 1.3. データベースによるデータの管理 1.4. データベースの種類 2. データベース管理システム 2.1. データベース管理システムとは 2.2. システムカタログ 2.3. データベース言語 2.4. 制約 2.5. 機密保護機能 2.6. トランザクション管理 2.7. 障害対策と回復 3. データベースシステムの構成 3.1. クライアント/サーバー構成 3.2. 階層構成 3.3. 分散データベース構成 4. データベース設計 4.1. データ分析 4.2. 正規化 4.3. データモデルの作成 4.4. 論理設計概要 4.5. 物理設計概要 5. DBMSの導入と構築 5.1. DBMSの選定 5.2. DBMSの導入 5.3. DBMSの構築 6. データウェアハウス 6.1. データウェアハウスの特徴 6.2. データウェアハウスシステムの構成
	48			NEC	新入社員	SQL入門	データベース操作言語SQLの基礎をマシン実習を通して修得します。	・SQL文を用いて、データの検索ができる。 ・SQL文を用いて、データの挿入、更新、削除ができる。 ・SQL文を用いて、データベースの資源(表、ビュー)を作成及び削除ができる。 ・SQL文を用いて、データベースの資源(表、ビュー)に対する権限を設定できる。	1. SQLの概要 ・データベースとSQL ・SQLの分類 ・SQLのデータ型 2. SQLによる問合せ(基礎編) ・データの検索 ・条件付き検索 ・算術演算子 ・グループ化を用いた検索 ・検索結果の並べ替え 3. SQLによる問合せ(応用編) ・表の結合を用いた検索(内部結合) ・表の結合を用いた検索(外部結合) ・副問合せを用いた検索 ・集合演算を用いた検索 4. データの変更とトランザクション ・データの挿入 ・データの更新 ・データの削除 ・トランザクション管理 5. データベースの定義 ・スキーマ ・表の定義・変更・削除 ・整合性制約 ・ビューの定義・削除 ・権限の付与・剥奪

コンテンツ	番号	共通キャリアスキル フレームワーク		提供企業 グループ	受講対象者	コース名	概要	学習目標	研修内容
		大分類	中分類						
	49			IBM	新入社員	データベース入門	今日の情報化社会には欠かせないデータベース その必要性と種類について学びます	1. データベースならびにリレーショナル・データベースの概 要を説明できる。 2. データベース管理システム(DBMS)が提供するサービス を理解し、説明できる。 3. データベース設計の手順を理解し、説明できる。	1. データベースとは 2. リレーショナル・データベースとは 3. リレーショナル・データベースの概念 4. データベース・システムが提供するサービス機能 5. <グループワーク> データベース設計概要
	50			IBM	新入社員	SQL言語演習	リレーショナル・データベースのデータ格納方法とは? データを自在に扱う方法を身につけます	1. SELECT文を使用して、表の基本的な照会操作を行う。 2. 結合および合併を使用して、複数表の照会操作を行う。 3. スカラー関数および列関数を使用する。 4. INSERT、UPDATE、DELETE文を使用して、表の更新操作 を行う。 5. 表およびビューを作成する。	1. 概要 2. 基本的な照会操作 3. 複数表の照会操作 4. スカラー関数と演算 5. 列関数とグループ化 6. 合併 7. 副照会 8. 表およびビューの作成
	51			TIS	若手社員	ネットワーク技術 (標準コース)(2年次社員)	ネットワークシステムを構築する際に必要となる要素を 理解し、構築手順や設計技法を習得する。	・データベース構築における設計の進め方を説明することが できる ・ビジネス要件に基づいてERダイアグラムを作成すること ができる ・データベースに関する運用計画の立案ができる	
	52			日立	新入社員	はじめて学ぶネットワーク	コンピュータをネットワークに接続して利用する際に必要 な用語、構成要素および利用形態などの基礎知識を 学習します。	・ネットワークの構成要素(ハード/ソフト)について説明でき る。 ・イーサネットの概要について説明できる。 ・WANサービスの概要について説明できる。	1. ネットワークのしくみ (1)クライアント・サーバシステム (2)基礎用語、要素 (3)プロトコル 2. LAN (1)媒体アクセス制御方式 (2)いろいろなLANの規格 3. WAN 4. インターネット
	53			日本ユニシス	新入社員	TCP/IPネットワーク基 礎	TCP/IPプロトコルの基本的な通信のしくみやインター ネット上の各種サービスの設定や通信の流れを演習を 通して修得する。	・現状、存在するTCP/IPのネットワーク構成について、ど のような要素から構成されているか、またその構成によ ってネットワークにどのような効果をもたらすか、説明することが できるようになる。 ・トラブルが発生している場合には、トラブルを取り除くた めにどのような調査をするべきかについても指摘できるよう になる。	1. TCP/IPの基本解説 2. ルーティングの構成 3. インターネット上のインフラ構築 4. インターネット上の技術 5. トラブルシューティング 6. 総合演習
	54			日本ユニシス	2-3年目生	TCP/IPネットワーク基 礎技術 ケーススタディ	本研修では研修内での各章を「ケーススタディ」と位置 づけ、ケーススタディに沿って必要な知識、技術の習得 を行う。1日目はイントラネット内のクライアントに関 するケースを中心に、2日目はインターネットに関 するケースを中心に、いくつかのケーススタディを取 り上げる。	・TCP/IP通信において、ネットワーク上を流れるパケットを キャプチャ・解析することで、ネットワークトラブル時に、原因 の切り分けができるようになる。 ・インターネット上の代表的なサービス(DNSやWebなど)の 基本設定を行うことで、ネットワーク構成図にでる各種 サーバーの役割を説明できるようになる。 ・今後、利用拡大が予想されるIPv6について、インター ネットとの相互運用方法を説明できるようになる。	1. ケーススタディ - 名前解決ができない? 2. ケーススタディ - Windowsファイアウォールを無効にしてく ださい? 3. ケーススタディ - トラブルシューティングシナリオ 4. ケーススタディ - サービスをインターネットに展開する 5. ケーススタディ - IPv6を利用したネットワークの運用
	55			NEC	新入社員	体験 ネットワーク入門	ネットワークに関する基本的な考え方や簡単な操作/状 態確認方法を修得します。	・ネットワークに関する基本用語が説明できる。 ・構築体験を通してネットワークの簡単な仕組みが説明でき る。 ・PC(Windows)に対し、簡単なネットワーク設定/確認ができ る。	1. 身近なネットワーク 1.1. ネットワークとは 1.2. ネットワークの利用例 2. ネットワークの利用 2.1. ネットワークの仕組み 2.2. 実習: 小規模ネットワーク・構築体験 2.3. ネットワークの利用 2.4. 実習: 小規模ネットワーク・設定体験 3. ネットワークの利用 3.1. ネットワークの仕組み 3.2. 実習: 小規模ネットワーク・構築体験 3.3. ネットワークの利用 3.4. 実習: 小規模ネットワーク・設定体験 4. 参考: 様々なケース 4.1. LANの構成例 4.2. 店舗内LANの構成例 5. ネットワーク同士の接続 5.1. LANとLANの接続 5.2. 外部ネットワークの利用 5.3. セキュリティ 5.4. 実習: ネットワークとネットワークの接続 6. 参考: その他のケース 6.1. オフィスのネットワークの構成例 7. トラブルシューティング 7.1. コマンドの利用 7.2. トラブル発生時の対処方法
	56	技術要素		NEC	新入社員	ネットワークシステム基礎	ネットワークシステムの構成と構築技術を身につけるた めに、OSI基本参照モデル、プロトコルの必要性と動 向、ネットワークの種類と動向など、ネットワークの全体 像を修得します。	・通信プロトコルの必要性を理解し、階層化のメリットを挙げ ることができる。 ・OSI基本参照モデルの下位層について、各階層の機能・役 割を上げることができる。 ・TCP/IPプロトコルにおける各階層の役割を理解し、関連付 けができる。 ・LANの基本構成要素を理解し、簡単なLANシステム構成が イメージできる。 ・WANの概要を理解し、簡単なシステム要件に応じたサー ビス選択ができる。 ・インターネット環境におけるサーバやサービスの役割を挙 げることができる。 ・セキュリティの重要性を理解し、簡単なセキュリティ対策を 上げることができる。 ・一般的な環境におけるパソコンのネットワーク設定ができ る。	1. ネットワークシステムの概要 1.1. ネットワークの利用 1.2. ネットワークの種類 1.3. <実習> ネットワークへの接続 1.4. ネットワークの基礎知識 1.5. 確認問題 2. 通信プロトコル 2.1. 通信プロトコルとは 2.2. OSI基本参照モデル 2.3. TCP/IP 2.4. <実習> TCP/IPの設定 2.5. 確認問題 3. LAN 3.1. LANの標準化 3.2. LANの構成要素 3.3. LAN間接続 3.4. <実習> ルータを越えるネットワーク 3.5. LANシステム構成 3.6. 確認問題 4. WAN 4.1. WANの利用 4.2. WANサービスの種類と特徴 4.3. 主なWANサービス 4.4. 確認問題 5. インターネットの利用 5.1. インターネットへの接続 5.2. DNS(ドメインネームシステム) 5.3. Proxy(プロキシ)サーバ 5.4. <実習> サービスの利用 5.5. 確認問題 6. ネットワークセキュリティ 6.1. セキュリティの重要性 6.2. 代表的な不正アクセスの手口 6.3. 主なセキュリティ対策 6.4. 確認問題

コンテンツ	番号	共通キャリアスキル フレームワーク		提供企業 グループ	受講対象者	コース名	概要	学習目標	研修内容
		大分類	中分類						
企業提供	57		ネットワーク	NEC	新入社員	TCP/IPプロトコル	TCP/IPプロトコルの基本からTCP/IP通信を構成する各プロトコルの技術全般を修得します。	<ul style="list-style-type: none"> ・IPの基本機能とIPアドレスの仕組みを理解し、簡単なアドレス設計ができる。 ・PCに対するIPアドレスの設定や様々な情報の確認ができる。 ・ICMPの機能と役割を理解し、その利用方法やメッセージ内容が識別できる。 ・ICMPを使用したPCのコマンドが実行できる。 ・TCPの特徴をとらえ、信頼性の高い通信を実現するための技術を列挙することができる。 ・LANアナライザを使用して、TCPの動作を確認することができる。 ・UDPにしている通信用途を挙げることができる。 ・代表的なTCP/IPのアプリケーションプロトコルの機能が識別できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. TCP/IP基礎知識 <ol style="list-style-type: none"> 1.1. TCP/IPの歴史 1.2. TCP/IPの標準化 1.3. TCP/IPプロトコルスタック 1.4. TCP/IP通信の流れ 1.5. 確認問題 2. IP (Internet Protocol) <ol style="list-style-type: none"> 2.1. IPの基本機能/ IPアドレス 2.2. <実習> PCへのIPアドレス設定と確認 2.3. ルーティング(経路制御) 2.4. <実習> PCのルーティングテーブルの確認 2.5. IPデータグラムの分割と再構築 2.6. ARP (Address Resolution Protocol) 2.7. <実習> ARPの機能・動作とARPテーブルの確認 2.8. IPヘッダ 2.9. <実習> IPデータグラムのキャプチャとヘッダパラメータ・動作の確認 2.10. 確認問題 3. ICMP (Internet Control Message Protocol) <ol style="list-style-type: none"> 3.1. ICMPの機能と役割/ ICMPメッセージ 3.2. <実習> PCを使用したICMPの役割・動作の確認 3.3. 確認問題 4. TCP (Transmission Control Protocol) <ol style="list-style-type: none"> 4.1. TCPの基本機能 4.2. ポート番号 4.3. コネクション管理 4.4. ウィンドウ制御 4.5. フロー制御 4.6. 輻輳制御 4.7. TCPヘッダ 4.8. <実習> TCPセグメントのキャプチャとヘッダパラメータ・動作の確認 4.9. 確認問題 5. UDP (User Datagram Protocol) <ol style="list-style-type: none"> 5.1. UDPの基本機能/ UDPヘッダ 6. アプリケーションプロトコル <ol style="list-style-type: none"> 6.1. DNS (Domain Name System) 6.2. WWW (World Wide Web) 6.3. 電子メール 6.4. TELNET (遠隔ログイン) 6.5. FTP (File Transfer Protocol) 6.6. SNMP (Simple Network Management Protocol) 6.7. 確認問題
	58			NEC	新入社員	インターネット要素技術	インターネット/イントラネットの概要やサービス、Webコンテンツ作成技術、インターネットにおけるセキュリティの概要について理解します。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種インターネットサーバについての特徴と利用場面を説明できる。 ・Webベースシステムのアプリケーション連携機能を理解し、業務に応じた連携方法を選択できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. インターネットの概要 2. イントラネット/エクストラネット 3. インターネット社会と課題 4. TCP/IPプロトコル 5. DNS (サービスと仕組み) 6. WWW (サービスと仕組み) 7. 電子メール (サービスと仕組み) 8. FTP (サービスと仕組み) 9. その他のサービス 10. Webコンテンツ作成技術 <ul style="list-style-type: none"> -HTML, CSS, Dynamic HTML, XML 11. WWWとアプリケーションプログラムの連携 <ul style="list-style-type: none"> -Javaアプレット、ActiveXコントロール、スクリプト、JavaScriptとVBScript、CGI、ASP、Java -Webアプリケーションサーバ、フレームワーク、Webサービス/ 12. xSP 13. インターネットへの接続 14. セキュリティ技術 <ul style="list-style-type: none"> -インターネットにおける脅威、コンピュータウイルス、ファイアウォールとIDS 15. 暗号化技術 <ul style="list-style-type: none"> -共通鍵暗号、公開鍵暗号、一方暗号、デジタル署名、VPN
	59			IBM	新入社員	ネットワークの基礎	身近なインターネットの仕組みからルーティング計画まで接続トラブルにも動かないネットワークの知識を身につけます	<ol style="list-style-type: none"> 1. インターネットを支えている原理や仕組みを理解する。 2. インターネットを利用したさまざまな業務を知り、実現している技術の概要を説明できる。 3. LAN、特にイーサネット技術の概要を理解し、説明できる。 4. TCP/IPについて理解し、簡単なサブネット計画ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. インターネット 2. インターネットにおける通信の仕組み <ul style="list-style-type: none"> ○階層モデル(OSI基本参照モデル) ○通信プロトコル(TCP/IP) 3. インターネットの利用方法と利用場所 <ul style="list-style-type: none"> ○電子メール、WWW ○IP電話 4. インターネット技術 <ul style="list-style-type: none"> ○TCP/IP ○セキュリティ 5. 通信インフラストラクチャー <ul style="list-style-type: none"> ○電気通信の仕組み ○伝送媒体 6. LAN <ul style="list-style-type: none"> ○イーサネット ○無線LAN 7. WAN <ul style="list-style-type: none"> ○ADSL ○広域イーサネット、IP-VPN 8. 身近な通信技術と今後の展望 9. TCO/IP概要 <ul style="list-style-type: none"> ○IPネットワークの構成要素 ○IPアドレスとサブネットマスク 10. TCP/IPの機能 <ul style="list-style-type: none"> ○IPの機能 ○TCPとUDP ○各種アプリケーション
	60			IBM	新入社員～	インターネット時代のネットワーク入門	伝送方式から始めるネットワーク学習はもう古い。身近なインターネットから学習をはじめましょう!	<ol style="list-style-type: none"> 1. インターネットを動かしている原理や仕組みを説明できる。 2. LAN、特にイーサネット技術の概要を説明できる。 3. 通信技術の概要と今後の動向を説明できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. インターネット 2. インターネットにおける通信の仕組み <ul style="list-style-type: none"> ○OSI基本参照モデル、通信プロトコル 3. インターネットの利用方法と利用場所 <ul style="list-style-type: none"> ・電子メール、WWW、IP電話 4. インターネット技術 <ul style="list-style-type: none"> -TCP/IP、セキュリティ 5. 通信インフラストラクチャー <ul style="list-style-type: none"> -ケーブルの種類 6. LAN <ul style="list-style-type: none"> -イーサネット、無線LAN 7. WAN <ul style="list-style-type: none"> -広域イーサネット、VPN 8. 身近な通信技術と今後の展望
	61			IBM	新入社員～	TCP/IPベーシック	ネットワーク入門をクリアした方に必須のコースです。TCP/IPに関する基礎知識を無駄なく身につけられます。	<ol style="list-style-type: none"> 1. TCP, IP, UDP等のプロトコルの仕組みを理解し、説明できる。 2. IPアドレスとサブネットの概念を理解し、サブネット計画を作成できる。 3. IPルーティングプロトコルの概要を理解し、説明できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. TCP/IPとは 2. IPネットワークの構成要素 3. IPの機能 4. IPアドレスとサブネット計画 5. IPルーティングの基礎 6. TCPとUDP 7. TCP/IPアプリケーション 8. IP関連プロトコル 9. IPv6概要
	62			日立	新入社員	情報セキュリティ入門ーセキュリティの必要性と対策ー	情報システムの利用者が理解しておくべき、セキュリティ上の管理的対策の必要性、およびセキュリティ対策技術について学習します。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムにおけるセキュリティの必要性について説明できる。 ・情報システムの利用者が理解しておくべき、管理的対策方法を説明できる。 ・基礎的なセキュリティ対策技術を説明できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報セキュリティの必要性 <ol style="list-style-type: none"> (1) 情報資産をとりまく環境 (2) 情報セキュリティの定義 (3) 情報セキュリティに対する意識 2. 情報社会における脅威 <ol style="list-style-type: none"> (1) 機密情報の漏えい (2) 個人情報の漏えい (3) 著作権の侵害 (4) コンピュータウイルス (5) 他ユーザへの迷惑行為 3. 情報セキュリティの管理 <ol style="list-style-type: none"> (1) 情報セキュリティポリシーとは (2) 情報セキュリティポリシーの効果 (3) 情報セキュリティポリシーの策定例 4. 情報セキュリティ対策 <ol style="list-style-type: none"> (1) 日常業務におけるセキュリティ対策 (2) コンピュータウイルス対策 (3) ユーザ認証 (4) アクセス制御 (5) 暗号技術
	63			日本ユニシス	2-3年目生	Webアプリケーションセキュリティ基礎	Webアプリケーションの開発時に適用する現時点で有効な具体的なセキュリティ対策を学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・Webアプリケーションの脆弱性や代表的な攻撃手法を理解し、脆弱性を作り込まない考え方を理解できるようになる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Webアプリケーションにおけるセキュリティの重要性 2. Cookie / セッション管理演習 3. Webアプリケーションの脆弱性とその対策

コンテンツ	番号	共通キャリアスキル フレームワーク		提供企業 グループ	受講対象者	コース名	概要	学習目標	研修内容
		大分類	中分類						
	64			NEC	新入社員	セキュリティ入門	コンピュータを利用するうえでの脅威と、その対処方法に関する知識を修得します。また、コンピュータを利用するうえで守るべきモラルに関する知識を修得します。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータウイルスへの対策として必要なことを整理できる。 ・不正アクセスへの対策として必要なことを整理できる。 ・セキュリティポリシーの意義をまとめることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報セキュリティの重要性 ・コンピュータ活用上の脅威 ・実施すべきセキュリティ対策 2. 不正アクセス概要 ・不正アクセスの傾向 ・不正アクセスへの対策 3. デスクトップセキュリティ ・パスワードの活用 ・ファイルアクセス権の活用 ・その他の技術対策 ・パスワードの活用 ・ファイルアクセス権の活用 4. コンピュータウイルス対策 ・コンピュータウイルスとは ・ウイルス対策ソフト ・予防対策ガイドライン ・ウイルス発生時の対処 ・Winny 5. 暗号技術によるセキュリティ対策 ・暗号技術 ・暗号技術の利用 6. 企業倫理とセキュリティポリシー ・企業を取り巻く環境 ・セキュリティポリシーとは
	65			NEC	新入社員	インターネットセキュリティ技術(実習編)	インターネットセキュリティに関する用語、構成、仕組みなどの基礎知識を幅広く修得します。	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティの重要性、脅威の種類、実際の攻撃者の攻撃手法、インターネットプロトコルの弱点などを理解することで、対応策を立案できる。 ・コンピュータウイルスに対する対策として、ワクチンソフトなどの対処法を立案できる。 ・ファイアウォール、プロキシサーバ、リモートアクセスサーバ、IDSなどのセキュリティ対策ツールの特徴、機能などを理解することで、セキュアなネットワーク構築の検討・提案することができる。 ・セキュリティ技術の理解だけでなく、セキュリティマネジメント、セキュリティ評価などの概要も知ることで、セキュリティ全体の視野から幅広く対応策などの検討を行うことができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. インターネットセキュリティ概要 <ol style="list-style-type: none"> 1.1. セキュリティの必要性 1.2. 脅威の種類 2. 不正侵入の手口 <ol style="list-style-type: none"> 2.1. 一般的な侵入の流れ 2.2. 事前調査 2.3. 権限取得 2.4. 不正実行 2.5. 事後処理 2.6. クラッキング体験実習 3. セキュリティ対策 <ol style="list-style-type: none"> 3.1. セキュリティ基本機能 3.2. ファイアウォール 3.3. アドレス変換 3.4. リモートアクセスの認証 3.5. ウイルス対策 3.6. ウイルス対策実習 4. 暗号技術 <ol style="list-style-type: none"> 4.1. 暗号技術概要 4.2. 暗号化方式 4.3. 実際の暗号通信 4.4. 電子署名 4.5. 暗号メール 4.6. VPN 4.7. SSL実習 4.8. S/MIME実習 5. TCP/IPアプリケーションプロトコルの弱点 <ol style="list-style-type: none"> 5.1. TCPコネクション 5.2. TCP/IPアプリケーションプロトコルによるサービス 5.3. TCP/IPアプリケーションプロトコル以外の問題点 5.4. セキュリティネットワークシステム構成 5.5. 各APセキュリティ対策実習 6. セキュリティネットワーク構成のポイント <ol style="list-style-type: none"> 6.1. セキュリティネットワーク構成のポイント 6.2. セキュリティ関連ツール 7. セキュリティガイドライン <ol style="list-style-type: none"> 7.1. ISO/IEC JTC 1/SC 27 7.2. ISO15408 / JIS X5070 7.3. セキュリティポリシーの概要
	66			IBM	新入社員	セキュリティの基礎	インターネットを支えるセキュリティ技術に対策と合わせて解説 セキュリティに対する意識を高めます	<ol style="list-style-type: none"> 1. インターネットにおけるセキュリティの重要性・脅威を理解する。 2. インターネット/イントラネットのセキュリティ技術の基礎を理解し、説明できる。 3. 日本のインターネット・セキュリティを取り巻く環境を知り、必要な情報収集ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. セキュリティの全体像 <ul style="list-style-type: none"> ○セキュリティの必要性 ○セキュリティ・ポリシーとは ○セキュリティの脅威と対策 2. システム・セキュリティ <ul style="list-style-type: none"> ○パッチファイル ○ウイルス対策 3. ネットワーク・セキュリティ <ul style="list-style-type: none"> ○ファイアウォールの機能と種類 4. トランザクション・セキュリティ <ul style="list-style-type: none"> ○暗号化の必要性 ○暗号化の種類 ○デジタル署名 5. 実践技術の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ○SSL、VPN、IPSec 6. セキュリティ関連情報
	67			富士通	新入社員	新入社員のためのシステム研修(Java)～システム開発プロジェクト疑似体験～	品質・コスト・納期・チームワークを意識したオブジェクト指向開発の全体的な流れを体験することにより、システム構築の概要を理解します。プロジェクト活動に必要な問題解決力、およびコミュニケーション能力を養います。	<ul style="list-style-type: none"> ・オブジェクト指向によるシステム開発の流れ、および作業内容を説明できる。 ・品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作ができる。 ・システム開発を進めるためのチーム活動の基本動作ができる。 ・JDBCを使用したデータベースアクセスができる。 ・サーブレット/JSPによるサーバサイドアプリケーションの作成ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 研修の流れ 3. 開始時のスキルレベル測定 4. SE基本動作の確認 5. システム開発の流れ 6. システム要求の確認 7. 要素技術の学習 8. プロトタイプ 9. プロジェクト発足 10. システム要求の再確認 11. 提供ドキュメント(要求分析)の確認 12. 顧客へのヒアリング 13. プロジェクト計画 14. システム構築 15. システム納品 16. 終了時のスキルレベル測定 17. プロジェクトまとめ/振り返り 18. 成果発表会準備 19. 成果発表会
	68			富士通	新入社員	新入社員のためのシステム基盤構築研修	品質、コスト納期を意識したシステム基盤設計から構築までの全体的な流れを体験することで、システム基盤の全体的な位置づけ、設計、構築概要を理解します。またプロジェクト活動に必要な問題解決力、およびコミュニケーション能力を養います。	<ul style="list-style-type: none"> ・システム基盤構築作業の全体的な流れを説明できる。 ・顧客要件に対応したシステム基盤(OS/NW/DB)のパラメータおよびテスト設計ができる。 ・システム基盤環境の構築作業(作業手順書作成・構築作業)ができる。 ・システム構築を進めるためのチーム活動と基本動作ができる。 ・品質確保/コスト遵守/納期厳守のための基本動作ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 研修の流れ 3. 開始時のスキルレベル測定 4. SE基本動作の確認 5. システム基盤の全体像と構築プロセスの確認 6. 要素技術に関する学習 7. 運用管理の概論に関する学習 8. 設計に関する学習 9. システム基盤構築 10. 納品準備 11. 納品 12. 終了時のスキルレベル測定 13. システム基盤構築振り返り 14. 成果発表会準備 15. 成果発表会
	69			TIS	新入社員	ソフトウェアテスト入門	ソフトウェアのテストの必要性を理解し、プログラムテストのテストケースを作成する	<ul style="list-style-type: none"> ・テストの概要と重要性を理解する ・一般的なテスト技法とその特徴を理解する ・プログラムテスト用のテストケースを作成できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ソフトウェアテストとは 2. テストの計画(設計) 3. テストの実施
	70			TIS	新入社員	Webアプリケーション開発演習	プロジェクトを組みチームで開発を行う。開発を行う際は、Webアプリケーションの開発演習を通じ、技能を高めることと、チーム開発の基礎を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・Webアプリケーションの仕様を解析しプログラムを作成できる ・チーム内での役割を分担し、進捗管理ができる ・Webアプリケーション開発の一連の工程を理解できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 設計書読解と作成 2. 外部設計(確認) 3. 内部設計 4. プログラミング 5. テスト・デバッグ 6. 発表準備 7. 成果発表と評価

コンテンツ	番号	共通キャリアスキル フレームワーク		提供企業 グループ	受講対象者	コース名	概要	学習目標	研修内容
		大分類	中分類						
開発技術	71	システム 開発技術		NTTデータ	新入社員	システム開発入門	段階的にシステムの機能を拡張する演習を通して、ロジック構築力を強化すると同時にリファクタリングについて学習する。また、UML(クラス図、シーケンス図)をJavaコードとして実装する感覚を身に着ける	<ul style="list-style-type: none"> 課題を解決するためのロジックを構築することができる。 ファイル入出力を伴う対話型のプログラムを作成できる。 UML(クラス図、シーケンス図)をソースコードに展開する感覚を身に着ける。 リファクタリングの目的やメリットについて説明できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 標準入力からのデータ取得 データの全件表示と検索 データの検索 機能の分離(Modelクラスの導入) データ追加(DAO/バタンの導入)、削除、更新、 インタフェースによるModelの抽象化 継承によるDAOの共通化
	72			日本ユニシス	新入社員	Javaコンソールアプリケーション演習	段階的にシステムの機能を拡張する演習を通して、ロジック構築力を強化すると同時にリファクタリングについて学習する。また、UML(クラス図、シーケンス図)をJavaコードとして実装する感覚を身に着ける	<ul style="list-style-type: none"> 課題を解決するためのロジックを構築することができるようになる。 ファイル入出力を伴う対話型のプログラムを作成できるようになる。 UML(クラス図、シーケンス図)をソースコードに展開する感覚を身に着ける。 リファクタリングの目的やメリットについて説明できるようになる。 	<ol style="list-style-type: none"> 標準入力からのデータ取得 データの全件表示と検索 データの検索 機能の分離(Modelクラスの導入) データ追加(DAO/バタンの導入)、削除、更新、 インタフェースによるModelの抽象化 継承によるDAOの共通化
	73			日本ユニシス	2-3年目生	ソフトウェアテストの基礎技術(講義版)	ソフトウェアテストに関して理解する。単体テスト、結合テスト、システムテストにおける品質の考え方を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア開発工程に合わせて、テストを計画し、実施することでシステムテスト、統合テスト、コンポーネントテストを用意することができ、それぞれのテストに必要な品質レベルで効率よく実施することができるようになる 	<ol style="list-style-type: none"> 学習の前に <ol style="list-style-type: none"> ソフトウェアテストについて学習する必要性 ソフトウェアテストについての前提知識 テストの基礎 <ol style="list-style-type: none"> テストとは何か 基本的なテストプロセス テストの心理学 ソフトウェアテストの分類 <ol style="list-style-type: none"> ソフトウェア開発モデルとテスト テストレベル テストタイプ その他のテスト 静的技法 <ol style="list-style-type: none"> レビューとプロセス レビュープロセス 静的テストのあれこれ テストの設計技法 <ol style="list-style-type: none"> テスト設計技法とは 仕様ベース、ブラックボックスのテスト設計技法 構造ベース、ホワイトボックスのテスト設計技法 テスト技法の選択 テストのマネジメント <ol style="list-style-type: none"> テスト組織 テスト計画作業と見積り テスト進捗のモニターとコントロール 構成管理 リスクとテスト 障害管理 テスト支援ツール <ol style="list-style-type: none"> テストツールの種類 ツールの効果的な使い方: 利点とリスク
	74			NEC	新入社員	システム開発入門	システム開発に初めて携わる方にとって必要な知識である、情報システム開発の目的と工程を修得します。	<ul style="list-style-type: none"> 全体最適を意識したシステム開発ができる。 システムライフサイクルを意識したシステム開発ができる。 標準化を意識したシステム開発ができる。 システム開発工程と担当業務の位置付けを理解したうえでシステム開発ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> システム開発とは システムの概要 ビジネスシステムと情報システム システムライフサイクル 標準化/2. システム開発の工程 プロセスモデル 基本計画 外部設計 内部設計 プログラム設計 プログラミング テスト 運用・保守
	75			日本ユニシス	2-3年目生	オブジェクト指向分析・設計演習-画面から作るWebアプリケーション-	演習をとおして、Webアプリケーション開発の分析・設計の作業(主にUMLでのモデリング)を経験することで、オブジェクト指向によるWebアプリケーションの分析・設計の基本知識を確認、習得する。	<ul style="list-style-type: none"> オブジェクト指向開発の考え方を再確認する。 代表的なUML図について、読み方を再確認する。(オブジェクト図、シーケンス図、クラス図) オブジェクト指向によるWebアプリケーション開発プロセス全体を理解できるようになる。 オブジェクト指向による分析の基本的な方法を理解できるようになる。 オブジェクト指向による設計の基本的な方法を理解できるようになる。 	<ol style="list-style-type: none"> オブジェクト指向再入門 Webアプリケーション分析・設計 <ol style="list-style-type: none"> 開発プロセス講義と演習 要件定義の講義と演習 分析の講義と演習 設計の講義と演習 まとめ
	76			日本ユニシス	2-3年目生	オブジェクト指向とUMLによるアプリケーション構築体験(Java編)	オブジェクト指向によるシステム開発の流れ(分析工程・設計工程・実装工程)を、演習をとおして学習する。	<ul style="list-style-type: none"> オブジェクト指向とUML、および、それらのアプリケーション構築への適用について、その基礎を習得する。 オブジェクト指向による分析と論理設計について、その基本的な方法を適用できるようになる。 オブジェクト指向による実装について、その基本的な方法を適用できるようになる。 	<ol style="list-style-type: none"> オブジェクト指向とUMLの基礎 オブジェクト指向による分析の基本的な方法 分析演習(演習、結果発表、討議) オブジェクト指向による論理設計の基本的な方法 論理設計演習(演習、結果発表、討議) オブジェクト指向による実装の基本的な方法 Javaを使用した実装実習
	77			IBM	新入社員	アプリケーション開発概説	アプリケーション開発を成功に導くには? それぞれの局面での課題と解決策を学びます	<ol style="list-style-type: none"> ビジネス・アプリケーション・システム開発に関する基本的な考え方を理解する。 ビジネス・アプリケーション・システム開発工程の作業を体系的に捉え、作成される文書の必要性を理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> ビジネス・アプリケーション・システム開発 <ol style="list-style-type: none"> システム構築の現状と課題 開発様式のいろいろ 開発の基本的な考え方 ビジネス・アプリケーション・システム開発工程 <ol style="list-style-type: none"> 要件定義 設計 開発 システム・テスト/移行
	78			IBM	新入社員	Webサイト構築基礎演習	見やすいWebサイトとは? 操作しやすいWebサイトとは? グループで話し合い、1つのサイトを完成させます	<ol style="list-style-type: none"> HTMLの概要を理解し、利用する。 ホームページ・ビルダーの基本機能を理解し、利用する。 JavaScriptの概要を理解する。 JavaScriptを使用し、Webサイトを構築する。 成果物の説明をする。 	<ol style="list-style-type: none"> Webサイト構築のための技術 HTMLとは HTML演習 JavaScriptとは JavaScript演習 Webサイト使用作成(以降チーム毎) Webサイト構築演習 発表資料作成 成果物発表
	79			NEC	新入社員	アプリケーション開発の基礎	プロジェクトマネジメントや上流工程の作業内容や開発技法を身につけることで、システムの設計/構築/導入の作業を実施するための基本的な知識を修得します。	<ul style="list-style-type: none"> システム開発アプローチの特徴を意識したシステム開発ができる。 プロジェクトマネジメントの要素を意識したシステム開発ができる。 開発コストを意識したシステム開発ができる。 構造化分析技法を理解することで、システム開発作業を効果的に遂行できる。 データ分析技法を理解することで、システム開発作業を効果的に遂行できる。 オブジェクト指向アプローチの内容と開発技法を理解することで、システム開発作業を効果的に遂行できる。 品質管理の重要性を理解し、テストやレビュー作業を効果的に遂行できる。 	<ol style="list-style-type: none"> ソフトウェア開発の概要 <ol style="list-style-type: none"> ソフトウェアとソフトウェア工学 プロセスモデル ソフトウェア開発のアプローチ プロジェクトマネジメント <ol style="list-style-type: none"> プロジェクトマネジメントの概要 PMBOK コストモデル <ol style="list-style-type: none"> コストモデルの概要 ファンクションポイントモデル 構造化分析技法 <ol style="list-style-type: none"> 構造化分析とは DFD 構造化分析の流れ データディクショナリ ミニ仕様書 データ分析技法 <ol style="list-style-type: none"> データ分析とは 正規化 ERD オブジェクト指向アプローチ <ol style="list-style-type: none"> オブジェクト指向とは UML 品質管理 <ol style="list-style-type: none"> ソフトウェアの品質とは ソフトウェアテスト レビュー 品質保証制度

コンテンツ	番号	共通キャリアスキル フレームワーク		提供企業 グループ	受講対象者	コース名	概要	学習目標	研修内容
		大分類	中分類						
	80	プロジェクト マネジメント	プロジェクト マネジメント	日本ユニシス	4-5年目生	プロジェクトマネジメント入門	プロジェクト管理業務の全体的な枠組みをPMBOKをベースに理解し、システム開発プロジェクトにおけるプロジェクト管理の必要性、プロジェクトマネージャの役割、管理プロセスの概要を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・高品質のシステムを作り上げるためのシステム開発プロジェクトマネジメント業務がわかるようになる。 ・ISサービスを実施するに当たり、プロジェクトマネージャとしての役割と責任がわかるようになる。 ・プロジェクトの計画立案、コントロールの方法を理解し、プロジェクトを成功に導く行動がとれるようになる 	<ol style="list-style-type: none"> 1.プロジェクトマネジメントの概要 2.知識体系 3.PMBOKの概要 4.立上げプロセス群 5.計画プロセス群 6.実行プロセス群 7.監視・コントロール・プロセス群 8.終結プロセス群 9.情報システム開発におけるプロジェクトマネージャの役割
	81			富士通	新入社員	プロジェクト活動の基礎～プロジェクトを成功に導くためのメンバーの心得～	プロジェクト活動の基本要素(品質・コスト・納期・コミュニケーション)を理解し、プロジェクトを円滑に進めるために必要なノウハウを演習をとおして学習します。	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト活動の流れを説明する。 ・プロジェクトメンバーとしての仕事の進め方を理解する。 ・プロジェクト活動に必要なコミュニケーションスキルを身に付ける。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロジェクト活動の流れ <ol style="list-style-type: none"> 1.1 プロジェクトとは何か 1.2 プロジェクトマネジメントの基本 2. プロジェクトメンバーとしての心得 <ol style="list-style-type: none"> 2.1 プロジェクトメンバーの基本的な心得 2.2 QCDを意識した行動 2.3 自己管理 2.4 情報共有 2.5 問題解決の基本原則
	82			IBM	新入社員	IT技術者の仕事と役割	IT技術者の世界へようこそ なりたいたい自分を思い描き、目標設定による仕事の動機付けを行います	<ol style="list-style-type: none"> 1. IT技術者の仕事の内容と、何を期待されているのかを理解する。 2. IT技術者として習得すべきスキルを体系的にとらえ、自分や会社が目指す目標を認識する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人・IT技術者としての心構え 2. IT技術者の仕事と活躍するステージ 3. IT技術者を支えるスキル 4. IT技術者としての仕事の進め方 5. IT技術者とキャリアパス 6. IT技術者の仕事をプロジェクトで考える
	83			IBM	新入社員	新入社員のための開発プロジェクト基礎スキル	プロジェクト・メンバーの一員として、自分に出来ることは何か プロジェクトの中で自分の役割に対する責任感を養います	<ol style="list-style-type: none"> 1. 仕事の意味やプロジェクト管理の重要性を理解したうえで、WBSが書けるようになる。 2. 計画から保守までのプロジェクトの流れを理解し、各工程の目的と主要な成果物について説明できる。 3. 疑似プロジェクトを通じてお客様の要望を正しく把握し、ユーザー・インターフェースに反映することができる。 4. プロジェクト・メンバーで効率よく進めていくためには一人ひとりがどのように行動するか考え、実践し、反省点を実際に活かす。 	<p>以下のコースの研修内容をご参照ください。</p> <p>第1～2日:仕事の進め方ープロジェクト管理手法を用いて</p> <p>第3日:アプリケーション開発概説</p> <p>第4～8日:アプリケーション開発プロジェクト擬似体験ー要件定義から外部設計まで</p>
	84			IBM	新入社員	仕事の進め方ープロジェクト管理手法を用いて	「プロジェクトで大切なこと」は「仕事で大切なこと」に直結します プロジェクト・マネジメント理論とグループワークで、常に全体を見通す力を育成します	<ol style="list-style-type: none"> 1.プロジェクトマネジメント理論の概要を理解し、事例を使った演習を通して自分の行動に反映する。 2.仕事とは何か、自分の実施すべき内容や範囲を理解する。 3.WBSを使って実施すべき事柄を洗い出すことができる。 4.仕事を進めていく上でのリスクを事前に察知し、適切な対応をとることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.はじめに 2.仕事とは 3.仕事の範囲を決める 4.段取りの作成 5.費用と時間を見積もる 6.コストを考える 7.スケジュールを作成する 8.リスクを洗い出し、対応策を考える 9.実行時の管理を行う 10.仕事の遂行と完了 11.おわりに
	85	IBM	新入社員～	ワーク・ブレイクダウン・ストラクチャー(WBS)概説	WBSは、どうやって作成するの？ 簡単なサンプルを使用して、一からWBSの作成方法を学びます。 プロジェクトにおいて、はじめてWBSを作成される方を対象とした概説コースです。 WBSとは何か、WBSを作成する目的は何か、プロジェクトの進捗とともに変化していくWBSの作成方法とその活用方法を、サンプル・プロジェクトを使用して追っていきます。	<ol style="list-style-type: none"> 1.WBSの作成する目的を理解する。 2.WBSを作成できる。 3.プロジェクトで使用するWBSを理解できる。 4.WBSとWBSから定義される項目を理解する。 5.WBSの作成手順を理解する。 6.WBS作成上の考慮点を理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. WBSとは 2. WBSの特徴と要素分解 3. WBSの作成とその活用 4. サンプル・プロジェクトのWBSと活用例 5. WBSに関する考慮点 		
	86	システム 戦略	システム 戦略	富士通	新入社員	新入社員のためのITソリューションセールス研修～ソリューションプロセスの理解～	ソリューションビジネスを行ううえで基礎となるプロセスの全体像を理解し、事例を踏まえながら、各プロセスの実行に必要なスキル・知識を修得します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ソリューションプロセス全体の流れを理解する。 ・各プロセスにおけるポイントや留意点を理解する。 ・ソリューションセールスとしてのマインドや立ち居るまいを修得する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ソリューションプロセスの全体の流れを理解する <ol style="list-style-type: none"> 1.1 ソリューションとは何か 1.2 ITソリューションの変遷 1.3 ITソリューションセールスの役割 1.4 プロセスの重要性を理解する 2. リレーション構築のプロセスを理解する <ol style="list-style-type: none"> 2.1 リレーション構築の流れ 2.2 自分を知る 2.3 リレーション構築の準備 2.4 リレーション構築を行う 3. 営業計画のプロセスを理解する <ol style="list-style-type: none"> 3.1 営業計画の必要性 3.2 自社を知る 3.3 自分を知る 3.4 お客様を知る 3.5 営業計画書を作成する 4. 商談のプロセスを理解する <ol style="list-style-type: none"> 4.1 基本的な商談の流れ 4.2 ヒアリングのための準備をおこなう 4.3 訪問のための準備をおこなう 4.4 訪問する 4.5 訪問の結果を整理する 4.6 訪問の結果を報告する 4.7 社内調整する 4.8 提案概要書を作成する 4.9 提案概要に対する共通認識を図る
	87			富士通	新入社員	新入社員のためのITソリューションセールス研修～IT基礎知識～	ITソリューションセールスとして、必要なITスキルを修得し、システム提案のためにユーザーと同等レベルのシステム知識(トレンドを含む)を理解します。	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様に提供するITソリューションの概要を理解する(事例から学ぶ)。 ・事例から考えられる基礎的なITスキルを修得する。 ・システム開発のプロセスおよび基本的な用語を理解する。 ・ビジネスプロセスにおけるソリューションセールスとしての役割を理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ITソリューションとは <ol style="list-style-type: none"> 1.1 身近にあふれるITソリューション 1.2 企業で活用されるITソリューション 2. ITソリューションセールスにITの知識が必要な理由 <ol style="list-style-type: none"> 2.1 ITソリューションセールスってどのような仕事 3. ITについて知ろう <ol style="list-style-type: none"> 3.1 ITの用語と解説 3.2 ハードウェア 3.3 ソフトウェア 3.4 ネットワーク 3.5 データベース 3.6 セキュリティとは 3.7 その他よく使用される用語 4. システム開発について知ろう <ol style="list-style-type: none"> 4.1 システム開発 4.2 ドキュメント 4.3 業務システム 5. トレンドをおさえよう <ol style="list-style-type: none"> 5.1 ITのトレンド 5.2 ビジネス環境のトレンド 5.3 最新情報の収集
	88			TIS	新入社員	フォローアップ研修	顧客の立場で考え行動する姿勢(考動)を身につけるために、TISのお客様を知り業務知識・業界知識をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ・担当顧客の業務知識 ・プレゼンテーションスキルの実践 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 担当する顧客及び業界についての情報を整理する 2. 整理した情報にもとづき顧客の抱える問題を把握する 3. 顧客の問題点解決にどのように貢献するのか 4. 顧客満足度を高める為の方策への関わり方を考える 5. 上記4点を整理し、発表を行う

コンテンツ	番号	共通キャリアスキルフレームワーク		提供企業グループ	受講対象者	コース名	概要	学習目標	研修内容
		大分類	中分類						
	89			IBM	新入社員	ITソリューションと最新動向	現在主流のソリューションとクラウド、ARなど世界を変えつつあるITトレンドをまとめて習得日々進化するIT技術に追いつこう！	1. 現在のビジネスとITの環境を理解する。 2. 主なITソリューションを説明する。 3. 主なITソリューションを実現する中心となる技術を説明する。 4. ITソリューションをさらに推進する新しい技術を理解する。	1. 今日のビジネスとITの環境 2. ITソリューション 2.1 電子商取引 2.2 SCM 2.3 ERP 2.4 CRM 2.5 BI 2.6 その他 3. ITソリューションを実現するテクノロジー 3.1 構成要素 3.2 4つのテクノロジー 3.3 セキュリティー 3.4 SOA 4. IT技術最新動向 4.1 クラウド・コンピューティング 4.2 グリーンIT 4.3 AR(拡張現実)技術 等
	90			IBM	新入社員	ソリューション提案実践	お客様の真のニーズに応えたい これまで学んだ知識・スキル・経験を総動員して挑む、IBM伝統の合宿研修	1. お客様対応のための基本的な営業活動スキル(知識/姿勢)を身に付ける。 2. お客様のニーズをベースにしたソリューション提供プロセスを理解する。 3. 自社における研修準備作業を通して、先輩社員への質問やレビューをしてもらうことにより、自社の営業風土を理解する。 4. お客様の意思決定者の方々を対象とした提案ができる。 5. 模擬ケースを通して、提案書作成からプレゼンテーションまでのソリューション提案の流れを独力で実践する。	第1～2日:【集合研修】 1. セールスプロセスの理解 1.1 訪問技法 1.2 質問技法 2. 模擬ケースの理解と提案書作成ガイド ～第3日:【オフィス】 ・提案書作成 (・提案書レビュー) 第3日:【集合研修】 3. 提案書レビュー、修正の検討 ～第4日:【オフィス】 ・提案書修正 ・リハーサル (・提案書、プレゼンテーション・レビュー) 第4～6日:【合宿研修】 4. 営業課長の提案書レビュー 5. ロールプレイ 5.1 電話でのアポイント 5.2 システム課主任訪問 5.3 システム課長訪問 5.4 営業部長訪問 5.5 社長訪問(契約書捺印の依頼)
	91	経営戦略	経営戦略マネジメント	NEC	3年目～マネジャー	IT経営プロジェクト基礎	今日、ITサービス活用の成否は、経営の成否に直結する。現代のIT技術者には、経営と技術の両面の理解が必要とされる。本研修は、主として一般企業(事業会社)の経営改革を担当するCIO、IT部門要員が身につけるべき経営改革活動を実施する上で必要な知識とプロジェクトマネジメントに関する知識を習得する。更に知識を活かす実践的なパーソナルスキルについて、演習や発表を通して自律的活動に対する気づきを得ることを目的とする。	経営改革・全体最適に必要な知識・スキルと気づき 経営戦略立案に必要な知識・スキルと気づき IT戦略立案に必要な知識・スキルと気づき IT資源調達に必要な知識とスキルと気づき IT導入に必要な知識とスキルと気づき ITサービス活用に必要な知識とスキルと気づき プロジェクトマネジメントに必要な知識とスキルと気づき	1.経営改革・全体最適の必要性 2.経営戦略立案 3.IT戦略立案 4.IT資源調達 5.IT導入 6.ITサービス活用 7.プロジェクトマネジメント
	92			富士通	新入社員	新入社員のためのビジネススキルトレーニング～会社の仕組み編～	会社の仕組み(ヒト・モノ・カネの流れなど)と組織について理解し、求められる姿勢とは何か、なぜお客様起点が重要なかなど、講義と演習をとおして学習します。	・企業活動の概要を理解する。 ・企業の中の組織、機能について説明できる。 ・企業の基本情報収集方法を理解する。 ・お客様起点の行動、マインドの重要性を理解する。	1. 会社について知ろう 1.1 会社の社会的使命を考える 1.2 会社の目的とは 1.3 会社で働くということ 1.4 会社の将来、目指していること 2. 会社のお金 2.1 お金の流れ 2.2 貸借対照表 2.3 損益計算書 2.4 キャッシュフロー計算書 3. お客様の立場で考える 3.1 市場における企業の価値とは 3.2 お客様の満足度を高めるために 4. 仕事の始まりと終わり 4.1 仕事の始まりと終わり 5. 一人ひとりの成長と会社の発展 5.1 労働と報酬 5.2 企業の成長と社員の成長
	93			富士通	新入社員	新入社員のためのITソリューションセールス研修～提案実践～	講師がお客様・上司役となり、ケース企業への提案活動(ヒアリング・提案書作成・プレゼンテーション)をロールプレイ形式で体験します。提案実践をとおしてソリューションセールスの土台となる知識・スキル・マインドを総合的に修得し、現場配属に備えます。	・ソリューション活動の流れを体得する。 ・お客様や上司とのコミュニケーション方法を修得する。 ・グループ作業における立ち居るまいやコミュニケーション方法を修得する。	1. オリエンテーション 2. 基本講義 3. 演習説明 4. 一次訪問準備(総務課長) 5. 総務課長へのヒアリング 6. 二次訪問準備(経営管理室長) 7. 経営戦略室長へのヒアリング 8. 訪問準備(経営管理室長) 9. 顧客訪問(経営管理室長) 10. プレゼンテーション講義 11. プレゼンテーション準備および追加訪問 12. プレゼンテーション準備 13. 顧客役員へのプレゼンテーション 14. 4日間の振り返り
	94	企業と法務	企業活動	富士通	新入社員	新入社員のためのITトレンド研修	業務システム開発において重要となる、セキュリティ技術および個人情報保護の基本について学習します。また、「システム利用者が必要なサービスを「いつでも受けられる」「自由に組み合わせられる」、そのような将来の企業システムが、ユビキタスやSOAによってどのように構築されるかを学びます。	・セキュリティの基本について説明する。 ・セキュリティ関連対策技術の基本について説明する。 ・個人情報保護の基本について説明する。 ・ネットワーク技術の基本と動向について説明する。 ・最新テクノロジー(ユビキタス、SOAなど)による今後の企業システムの可能性について説明する。	1. 私たちの業務とITトレンドの関係 1.1 私たちがITトレンドを知る意味 1.2 意識しておきたいITトレンドのキーワード 2. 私たちの業務において意識すべき情報セキュリティ 2.1 企業・組織として守らなければならないものは何か 2.2 情報セキュリティとは何か 2.3 これだけはやっておきたい情報セキュリティ対策 3. 私たちの業務において意識すべき個人情報保護 3.1 個人情報の定義と個人情報保護の必要性 3.2 個人情報漏えいのリスク 3.3 個人情報漏えいの主な原因 3.4 個人情報保護法でこれだけは知っておこう 3.5 ケース別で見る個人情報の取り扱い 4. 情報システムの役割拡大とSEの作業 4.1 重要性を増す情報システムの役割とSE作業 4.2 求められるプロジェクト推進能力 4.3 重要性を増す情報システムの運用管理 4.4 今後SEに必要とされるマネジメントシステムへの対応能力 4.5 要求される経営課題や業務改善に直結した提案 5. 情報システムのトレンド 5.1 情報システム構築におけるトレンド 5.2 情報システム運用技術のトレンド 5.3 情報セキュリティ技術のトレンド 5.4 ユビキタス時代のIT
	95			日本ユニシス	新入社員～	企業活動シミュレーション～利益を生む会社の仕組み～	紙コップを製造する小規模の会社を設立し、紙コップの企画から販売までの企業活動を体験しながら「コスト」を認識します。また、企業の利益は商品力を強化するだけではなく間接費用等を考慮することで利益が生まれることを認識します。	・企業全体の仕事の流れを理解します。 ・企業が利益をあげる仕組みを理解します。 ・企業努力(コストダウン、商品力強化、販売努力等)と成果(財務数値)の関係を把握します。 ・市場競争の模擬体験を通じ、競争の意味を理解します。 ・これを疑似体験することで企業の目標と、自分の仕事の関連性と位置付けを理解します。	1.オリエンテーション 2.セッション1 会社の基本方針の持つ意味とその重要性を認識します。 3.セッション2 会社を設立し、簡単な組織編成を実施します。 企画・開発・設計・製造・販売のシミュレーションを通じ、企業活動の流れを体験的に理解します。 企画・開発・設計・製造過程におけるコストダウンのポイントを整理します。 コストダウンの努力がどのような成果を生み出すか体験的に理解します。 4.セッション3 商品力と付加価値の意味を理解します。 販売、広告、宣伝の工夫・努力の違いから生じる売上高の差、及び売上を伸ばすためのポイントを整理すると共に企業の財務諸表について簡単に説明します。

コンテンツ	番号	共通キャリアスキル フレームワーク		提供企業 グループ	受講対象者	コース名	概要	学習目標	研修内容
		大分類	中分類						
	96			NEC	3年目～マネジャー	IT経営プロジェクト基礎	今日、ITサービス活用の成否は、経営の成否に直結する。現代のIT技術者には、経営と技術の両面の理解が必要とされる。本研修は、主として一般企業(事業会社)の経営改革を担当するCJO、IT部門要員が身につけるべき経営改革活動を実施する上で必要な知識とプロジェクトマネジメントに関する知識を習得する。更に知識を活かす実践的なパーソナルスキルについて、演習や発表を通じて自律的活動に対する気づきを得ることを目的とする。	経営改革・全体最適に必要な知識・スキルと気づき 経営戦略立案に必要な知識・スキルと気づき IT戦略立案に必要な知識・スキルと気づき IT資源調達に必要な知識とスキルと気づき IT導入に必要な知識とスキルと気づき ITサービス活用に必要な知識とスキルと気づき プロジェクトマネジメントに必要な知識とスキルと気づき	1.経営改革・全体最適の必要性 2.経営戦略立案 3.IT戦略立案 4.IT資源調達 5.IT導入 6.ITサービス活用 7.プロジェクトマネジメント
	97			IBM	新入社員	企業の仕組みと情報の流れ	人・モノ・情報・金はどのように動いているのか 会社経営を擬似体験し、企業の仕組みを学びます	1. 企業活動と会社の仕組みが説明できる。 2. 企業における一般管理業務について説明できる。 3. 販売管理における主要業務を、手作業による企業シミュレーションを体験することにより、業務の概要および情報の流れを理解する。	1. 企業活動の仕組み 2. 販売管理と会計業務概論 3. <演習> 情報の流れ 3.1 ケース会社紹介 3.2 受注～納品、請求～入金 3.3 発注～入庫～支払 4. <演習> 情報の流れ(続き) 4.1 発注～入庫～支払(続き) 4.2 資金繰り 4.3 決算
	98			IBM	新入社員	簿記・財務会計のポイント	「数字」からビジネスを見抜く 現場で使える会計センスを磨きます	1. 簿記・財務会計の目的とポイントを理解する。 2. 実際に財務諸表を読むことを体験する。	1. 簿記の基本的ルールと決済までの流れ 2. 簿記の仕分け(例) 3. <演習> 簿記の仕分け 4. 財務会計とは 5. 貸借対照表のポイント 6. 損益計算書のポイント 7. キャッシュフロー計算書のポイント 8. <演習> 貸借対照表/損益計算書
	99			富士通	新入社員	新入社員のためのビジネス スキルトレーニング ～マ ナー・マインド編～	企業の仕組みや新入社員の心構え、ビジネスマナーなど、新入社員としてのビジネス基本動作を業務シミュレーションをとおして実践的に学習します。	・職場でのルール・けじめなどを守って、ビジネスパーソンとして行動する。 ・ビジネスマナーを守って、挨拶、電話応対、名刺交換などを行う。 ・指示・命令の受け方および報・連・相の大切さを理解する。 ・会社・組織の仕組みを理解する。	1. ビジネスパーソンとして行動するには 1.1 今の自分を振り返る 1.2 主体性を持つ 1.3 積極的にコミュニケーションをとる 1.4 考える力をつける 1.5 自分の価値を高めよう 2. 会社組織で働く 2.1 企業とは 2.2 組織の構成 2.3 企業が正しく活動するために 3. 仕事のしかた、進め方を身につける 3.1 仕事を円滑にするために 3.2 仕事を受けるときのポイント 3.3 仕事の進め方 ― 質の高い仕事を行うために 3.4 仕事の生産性を向上させる 3.5 仕事を円滑にするコミュニケーション 4. ビジネスマナーを身につける 4.1 ビジネスマナーの基本 4.2 ビジネスシーンにふさわしい言葉遣い 4.3 シーン別のビジネスマナーを身につけよう 4.4 パブリックスペースでのマナー 5. 将来の自分を考える 5.1 将来の自分を考える
	100		ビジネス マナー	日立	新入社員	おさえておきたいビジネスマ ナー-小さな気配りで大きく 差をつける-	社会人として信頼されるために必要な基本動作と心構えを学習します。ビジネスシーンに直結した演習を通して、ご受講者に気づきを促すカリキュラムになっています。顧客やビジネスパートナーにとって、担当者のマナーや印象が商品購入の意思決定や信頼関係に影響することを意識しながら、自己のマナーや動作を振り返り、改善に繋がります。	・ビジネスマナーの必要性和重要性を理解できる。 ・好印象を与えるために注意すべきポイントを説明できる。 ・演習を通してポイントを体得し、実際のビジネスシーンに活用できる。	1. 自己紹介 1.1. スピーチのポイントの解説 2. 社会人と学生との違い 3. 身だしなみと立ち居振舞い 4. 訪問・来客対応 4.1. 言葉遣い・敬語 4.2. 名刺交換 5. 電話応対 5.1. 言葉遣い・敬語 5.2. メモの取り方 6. メールのマナー 7. 情報機器の取り扱い
	101			日本ユニシス	新入社員	はじめてのビジネスマナー	なぜマナーが必要なのかを認識し、社会人にとって社会生活で最低限必要となるビジネスマナーを、主体的に修得する。	・様々なビジネスシーンごとのケーススタディを通じて、社会人として必須の「ビジネスマナー」の重要性とスキルを体感・習得する ・基本的な原理、原則を知識として学びロールプレイを通して行動できるようになる	1.基本マナーを身につける 1.1.挨拶 1.2.言葉使い 1.3.敬語 1.4.電話 1.5.立ち居振舞い、 1.6.身だしなみ 1.7.名刺交換 2.DVD視聴 3.実習(ロールプレイング)
	102			IBM	新入社員	ビジネス・マナーの基本	マナーの本質を探るディスカッションと、豊富なロールプレイ形を“覚える”だけでなく、その目的を“考える”ことが、“使える”ビジネス・マナーにつながります	1. 企業人としての役割と責任について説明する。 2. ビジネス・マナーの重要性について説明する。 3. 仕事への取り組み方を学び、実務に活かす。 4. お客様との信頼関係や、職場での円滑な人間関係を築くための基本的なビジネス・マナーを身に付ける。	1. 職場の基本 2. あいさつとことばづかい 3. 名刺交換 4. 接遇・訪問 5. 電話応対 6. 仕事の受け方と報・連・相
	103		ロジカル シンキング	富士通	新入社員	新入社員のためのビジネス スキルトレーニング ～ロジ カルシンキング・問題解決編～	ビジネスシーンにおいて求められるロジカルシンキングと問題解決を学習します。ロジカルシンキングでは、論理的思考法やツールを活用して、論理的に情報を整理する方法を学習します。また、問題解決では、グループ討議を通じて、問題の原因を分析し、解決策を立案する技法を学習します。	・代表的な論理的思考法、ツールの概要を理解する。 ・論理的思考法、ツールを活用して、論理的に物事を整理する。 ・問題解決の基本的な手順を理解する。 ・グループ討議による問題解決技法を実践する	1. ビジネスシーンとロジカルシンキング 1.1 ロジカルシンキングとは 1.2 ビジネスシーンで活用されるロジカルシンキング 1.3 ビジネスシーンで求められるロジカルシンキングの表現 1.4 ロジカルシンキングを実践するために 2. ロジカルシンキングで使用される思考法 2.1 ロジカルシンキングで使用される思考法 2.2 MECEとは 2.3 仮説思考とは 2.4 ゼロベース思考とは 3. ロジカルシンキングのツール 3.1 ツールを使ってロジカルシンキングを実践しよう 3.2 ロジックツリーとは 3.3 マトリックスとは 4. ビジネスシーンと問題解決 4.1 問題とは 4.2 ビジネスシーンでの問題解決 4.3 ビジネスシーンでの問題解決方法 4.4 議論の効率化(発散と収束) 5. 問題解決のプロセス 5.1 問題解決のプロセスとは 5.2 問題の認識 5.3 影響と原因の分析 5.4 解決策の立案
	104			IBM	新入社員	クリティカル・シンキング入 門	クリティカル・シンキングの本質は、自分の頭で考え自分の言葉で結論を導き出すこと 頭を鍛え、自分自身の「思考のクセ」を矯正します	1. ビジネスに役立つ思考力(効率的に、より深く、より広く考えるための思考テクニック)を身に付けたい方 2. 論理的かつ客観的に考えた結果を、相手にわかりやすく伝えたい方	1. 論理的に考える 1.1 論理展開(三角ロジック、演繹法と帰納法) 2. 因果関係を把握する 2.1 因果関係 2.2 相関関係 2.3 第3因子 3. 分析する 3.1 MECE 3.2 ロジックツリー 3.3 フレームワーク 4. 伝える 4.1 ピラミッド構造

コンテンツ	番号	共通キャリアスキル フレームワーク		提供企業 グループ	受講対象者	コース名	概要	学習目標	研修内容
		大分類	中分類						
	105	パーソナル	ドキュメンテーション	富士通	新入社員	新入社員のためのビジネススキルトレーニング～プレゼンテーション・文書作成編～	ビジネスシーンにおいて求められる文書作成とプレゼンテーションを学習します。文書作成では、分かりやすい文書の作成方法、文書作成のマナーなど、ビジネス文書作成の基本を学習します。プレゼンテーションでは、分かりやすいプレゼンテーション資料の作成方法、効果的なプレゼンテーションの実施方法を学習します。	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい文書を作成する。 ・基本的なビジネス文書を作成する。 ・分かりやすいプレゼンテーション資料を作成する。 ・効果的なプレゼンテーションを実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネスシーンで求められる文書 <ol style="list-style-type: none"> 1.1 「分かる」とはどういうことか 1.2 「分かりやすく伝える」とはどういうことか 1.3 ビジネス文書と一般的な文書の違い 1.4 ビジネス文書の果たす役割 1.5 社内文書と社外文書 2. 文書作成のポイント <ol style="list-style-type: none"> 2.1 ビジネス文書を作成するうえでの心構え 2.2 準備のポイント 3. 正しく分かりやすい文章の作成 <ol style="list-style-type: none"> 3.1 正確に伝える 3.2 分かりやすく伝える 4. 代表的なビジネス文書の作成 <ol style="list-style-type: none"> 4.1 代表的なビジネス文書 4.2 e-mailを作成する 4.3 報告書を作成する 4.4 議事録を作成する 5. ビジネスシーンで求められるプレゼンテーション <ol style="list-style-type: none"> 5.1 プレゼンテーションとは 5.2 プレゼンテーションの役割 5.3 プレゼンテーションに欠かせないエッセンス 5.4 ビジネスシーンに見るプレゼンテーション 6. プレゼンテーションのプロセスと準備のポイント <ol style="list-style-type: none"> 6.1 プレゼンテーションのプロセス 6.2 シナリオ作成のポイント 7. 分かりやすいプレゼンテーション資料の作成 <ol style="list-style-type: none"> 7.1 資料作成のポイント 8. 効果的なプレゼンテーションの実施 <ol style="list-style-type: none"> 8.1 分かりやすく伝える 8.2 聞く気にさせる
	106			日立	新入社員	知っておきたいビジネス文書の書き方-文書作成のための意識と心構え-	文書作成スキルは、ビジネスパーソンとして身につけておきたいスキルです。正確・明瞭・簡潔さを意識しながらビジネス文書に必要なポイントと効果的な書き方を学習します。パソコンを利用した演習のため実務に活用できるカリキュラムになっています。	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス文書の種類を説明できる。 ・正確、明瞭、簡潔な表現を意識した文書作成ができる。 ・「報告」「連絡」「依頼」など、ビジネスシーンに応じた文書をパソコンを使って作成できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネス文書作成の基本(文字によるコミュニケーション) <ol style="list-style-type: none"> 1.1. 正しいビジネス文書を書くためのルールとマナー 1.2. 正確、明瞭、簡潔な文章を書くコツ 1.3. 好感度を上げる表現力、言葉使い 1.4. トラブル/誤解を避けるための注意点 1.5. PCを使った文書作成のコツ 2. ビジネスシーンに応じた文書の書き方 <ol style="list-style-type: none"> 2.1 社内文書: 仕事の効果・効率を高めるための社内文書 2.2. 社外文書: 会社/組織の顔である社外文書 3. 電子メール(情報化社会におけるビジネスコミュニケーション) <ol style="list-style-type: none"> 3.1. 基本知識とルール、Eメール作成のポイント 3.2. トラブルを避けるためのマナーと注意点 4. 演習 5. 振り返りとフィードバック
	107			日立	新入社員	効果的なプレゼン資料作成テクニックを学べる!PowerPoint2007活用	Microsoft Office PowerPoint 2007を使用する方が、さらに訴求力のあるプレゼンテーション資料を作成するための活用テクニックを学習します。	<ul style="list-style-type: none"> ・レイアウトの基本を理解できる。 ・プレゼンテーション資料に適した文字や文字の大きさ、分量について理解できる。 ・見やすい色や読みやすい色の組合せについて理解できる。 ・効果的な表やグラフ、チャート図の使い方について理解できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 聞き手を意識する 2. レイアウトの基本 3. フォントの基本 4. 色彩の基本 5. 図解の基本 6. マシン実習
	108			日本ユニシス	新入社員	書くスキル	書く力の不足がもたらす弊害を実感し、効果的な文書作成ポイントとして「型」の知識を得、業務改善提案書と週次報告書の作成演習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・新人研修期間である5ヶ月の間に週次報告書の型を習得し、簡潔に見やすくわかりやすい週次報告書が書けるようになる 	<ol style="list-style-type: none"> 1.わかりやすい文章を書くポイント 2.ビジネス文書の種類 3.文書作成の決まりごと 4.社内文書 5.社内文書: 議事録 6.社外文書 7.社内メール、社外メール
	109			IBM	新入社員	eメール時代のビジネス文書の書き方	文書は顔が見えない分、誤解を招きやすいもの相手に理解しやすい文書の書き方を身につけましょう	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネス文書の特徴を理解する。 2. 社内文書、社外文書の形式を知り、応用する。 3. わかりやすいビジネス文書を書くコツを理解する。 4. 敬語や正しい言葉づかいを身につける 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネス文書とは <ol style="list-style-type: none"> 1.1 役割と働きを知る 2. ビジネス文書の形式 <ol style="list-style-type: none"> 2.1 礼儀正しい型 2.2 社内文書・社外文書の特徴と形式 3. わかりやすいビジネス文書の作成 <ol style="list-style-type: none"> 3.1 一文の適切な表現 3.2 正しい漢字の選び方 3.3 論理的に表現するコツ
	110			日立	新入社員	プレゼンテーション基礎-弱点を克服し、長所を伸ばしてスキルアップ-	聞き手に訴える「シナリオ(内容)」作りのポイントや分かりやすく表現するための「デリバリー(伝え方)」など、プレゼンテーションに必要な知識と技法を体系的に紹介します。ビデオカメラを使って繰返し演習を行うことで、弱点の克服と長所の強化を図ることができます。	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手にとって分かりやすく効果の高い「シナリオ」を構成できる。 ・分かりやすく印象に残る「デリバリー」について説明できる。 ・自身の長短を把握し、レベルアップのための施策を立てることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. プレゼンテーションの重要性 <ol style="list-style-type: none"> 1.1. 社会変化とプレゼンテーション 1.2. 「プレゼンテーション」とは 2. プレゼンテーションの構成要素 <ol style="list-style-type: none"> 2.1. プレゼンテーションの3つの構成要素 3. デリバリスキル <ol style="list-style-type: none"> 3.1. 効果的な伝え方 3.2. デリバリスキルのポイント 4. シナリオスキル <ol style="list-style-type: none"> 4.1. プレゼンテーション本番までのプロセス 4.2. 各ステップとその詳細 5. 演習 <ol style="list-style-type: none"> 5.1. シナリオ作成→リハーサル→発表(ビデオ撮影)→ビデオ再生→振り返り→講師
	111			日本ユニシス	新入社員	プレゼンテーション入門	・繰返しの実践演習(テーマ・時間は大小様々)により、プレゼンテーションの準備から実施・フィードバックの流れを理解する。 ・PowerPointで作成した資料を活用したプレゼンテーションを実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容を正しく、分かりやすく伝えることができるようになる ・伝えたい内容を正しく、書いて分かりやすく伝えることができるようになる ・プレゼンテーション技術の基本動作ができるようになる ・自分や他者のプレゼンテーションを客観的に振り返り、よい点・改善点をみつけることができるようになる 	<ol style="list-style-type: none"> 1.プレゼンテーションとは? 2.プレゼンテーションの種類 3.プレゼンテーションに必要な3つの能力 4.プレゼンテーションの準備 5.プレゼンテーションの実施 6.恐怖感とアガリをコントロールする方法、他 7.実習
	112			IBM	新入社員	プレゼンテーションの基礎	「人前が苦手」、「失敗したらどうしよう」そんな悩みを克服するプレゼンテーション・テクニックを伝授します	<ol style="list-style-type: none"> 1. 聞き手を退屈させない魅力的なプレゼンテーションができる 2. 印象深く、長く記憶に残るプレゼンテーションを行うことができる 3. 言葉以外の技法を生かしてプレゼンテーションを行うことができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. プレゼンテーションとは? 2. <演習>ミニプレゼンテーション 3. ストーリーの組み立て 4. ビジュアル資料と視覚ツール 5. プレゼンテーション技法 6. <演習>プレゼンテーション
	113			IBM	新入社員～	聴き手を動かすプレゼンテーション・テクニック	ビデオ撮影や講師・他の受講生からのフィードバックにより、ご自分のプレゼンテーション・スタイルを確認して改善が図れます	<ol style="list-style-type: none"> 1.聴き手を退屈させないプレゼンテーションを行うことができる 2.言葉以外のプレゼンテーションの技法を身につけることができる 3.印象深く、長く記憶に残るプレゼンテーションができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1.プレゼンテーションとは 2.初回プレゼンテーション演習/フィードバック 3.ストーリーの組み立て 4.プレゼンテーションの基本技法 5.ノン・バーバル表現の演習 6.ビジュアル表現の活用 7.最終プレゼンテーションの準備 8.リハーサルの実施 9.最終プレゼンテーション演習/フィードバック
	114			日立	新入社員	仕事の進め方と報連相-ビジネスの質を高める-	社会人として身につけたい仕事の進め方の基本を学習します。特に報連相(報告・連絡・相談)の重要性を、グループによる論議やロールプレイを行い学習します。	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な仕事の進め方を実践できる。 ・報連相の重要なポイントと活用法を説明できる。 ・仕事に関するアウトプットの質を高めることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 仕事の進め方の基本 2. PDCAサイクル 3. 報連相の基本とポイント <ol style="list-style-type: none"> 3.1 報告とは(報告の種類/報告の技術) 3.2 連絡とは(連絡の種類/連絡方法の活用術、5W2Hを使って的確に) 3.3 相談とは(相談の種類/相談の仕方) 4. 演習 5. 振り返り

コンテンツ	番号	共通キャリアスキル フレームワーク		提供企業 グループ	受講対象者	コース名	概要	学習目標	研修内容
		大分類	中分類						
	115		シ ョ ン	IBM	新入社員	対人対応力の基本	<p>まずは自分を理解し、次に他人との「違い」に気付き認め合う ディスカッション・ロールプレイを通し、どんな人とも円滑な関係を築く方法を身につけます</p>	<p>1. 適切なコミュニケーションができ、社会人として円滑な人間関係が築ける。 2. 自分自身の行動特性を認識し、自分と違った行動特性の人たちとのコミュニケーションの方法を身に付ける。</p>	<p>1. 自分の対人対応をふりかえる(ディスカッション) 2. 行動特性を探る共通言語 -DiSC 3. DiSC Classic(自己分析ツール)による自己の行動特性診断 4. 行動特性(D-i-S-C)の理解を深める(同じ行動特性の人とディスカッション) 5. D-i-S-C別の効果的な説得方法を考える(異なる行動特性の人同士でディスカッション、ロールプレイ)</p>